

2025年（令和7年）
県民歯科口腔保健実態調査報告書

令和8年3月

福岡県
福岡県歯科医師会

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象	1
3 調査時期	1
4 調査項目	1
5 調査方法	2
6 被調査者数	3

第2章 結果の概要

第1部 口腔内診査

1 歯・補綴の状況	6
2 歯肉の状況	17
3 口腔清掃状態	19
4 口腔機能の状況	20
5 フッ化物応用の経験の有無	22

第2部 アンケート調査

1 歯や口の状態	24
2 歯をみがく頻度	27
3 歯や口の清掃状況	29
4 定期的な歯科受診の状況	31

参考資料

令和7年歯科口腔保健実態調査実施要領	33
令和7年歯科口腔保健実態調査票	34

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本県の歯科口腔保健の状況を把握し、県が実施する歯科口腔保健施策の効果、福岡県歯科口腔保健推進計画の進捗状況や評価を行うための基礎資料とし、今後の本県の歯科保健医療の推進を図ることを目的とする。

2. 調査の対象

福岡県歯科医師会会員歯科診療所を受診した満1歳以上の受診者

3. 調査時期

2025年（令和7年）10月1日から2025年（令和7年）11月30日まで

4. 調査項目

（1）口腔内診査

- ・ 歯・補綴の状況
- ・ 歯肉の状況
- ・ 口腔清掃状態
- ・ 口腔機能の状況
- ・ フッ化物応用の経験の有無

（2）アンケート調査

- ・ 歯や口の状態
- ・ 歯をみがく頻度
- ・ 歯や口の清掃状況
- ・ 定期的な歯科受診の状況

5. 調査方法

調査結果の集計、評価を福岡県保健医療介護部健康増進課が行うとともに、以下の内容を福岡県歯科医師会に委託して実施した。

地域ごとに按分した目標人数を達成できるように歯科診療所にライフステージ別・性別を踏まえ、対象者数を割り当てた。各歯科診療所では、受診者の中から対象の年齢及び性がマッチする患者を無作為に選出し、本調査への協力同意が得られた者約2,300人を被調査者として選定した。調査は、各歯科診療所（個別形式）にて、アンケート調査及び口腔内診査を実施した。

6. 被調査者数

口腔内診査受診者は2,344人（男性1,126人、女性1,213人、無回答・不明5人）、アンケート回答者数は2,179人（男性1,036人、女性1,143人）であった（表1、図1～3）。

表2、3および図4、5は被調査者の居住地別人数をそれぞれ口腔内受診者、アンケート回答者ごとに示したものである。

表1 被調査者数（口腔内診査受診者数、アンケート回答者数）、性・ライフステージ別

年齢階級（歳）	口腔内診査			アンケート		
	男性	女性	計	男性	女性	計
総数	1126	1213	2339	1036	1143	2179
1～5	195	187	382	179	182	361
6～17	196	197	393	190	188	378
18～29	188	204	392	154	178	332
30～44	189	204	393	179	199	378
45～64	188	199	387	171	180	351
65～	170	222	392	163	216	379

注：口腔内診査を受診した人のうち、5人が性別について無回答・不明。

アンケートを回答せず、口腔内診査のみ受診した人が165人いるため、総数がアンケート回答者数よりも多い。

図1 口腔内診査受診者数とアンケート回答者数、ライフステージ別

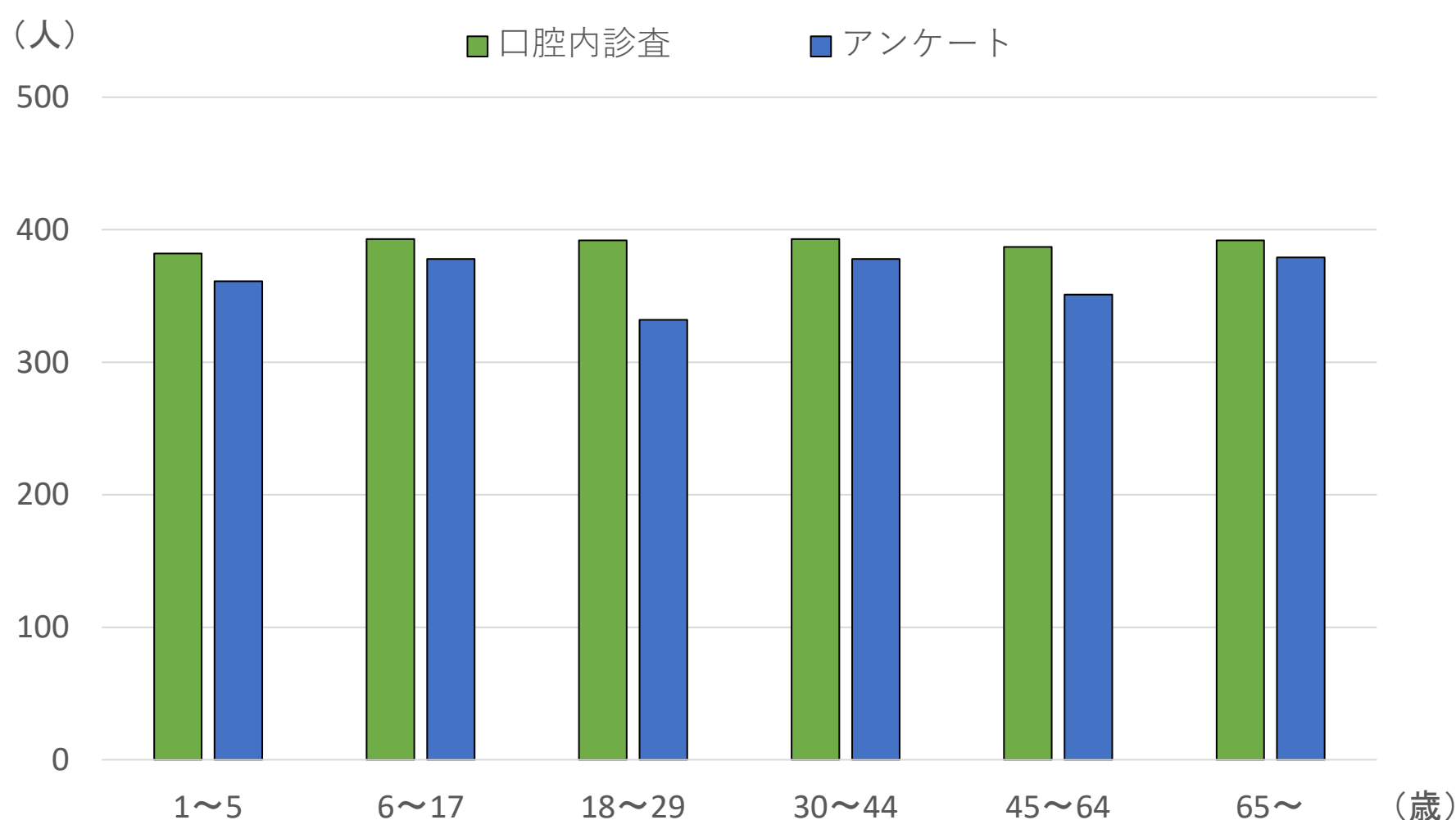


図2 口腔内診査受診者の性別割合、ライフステージ別

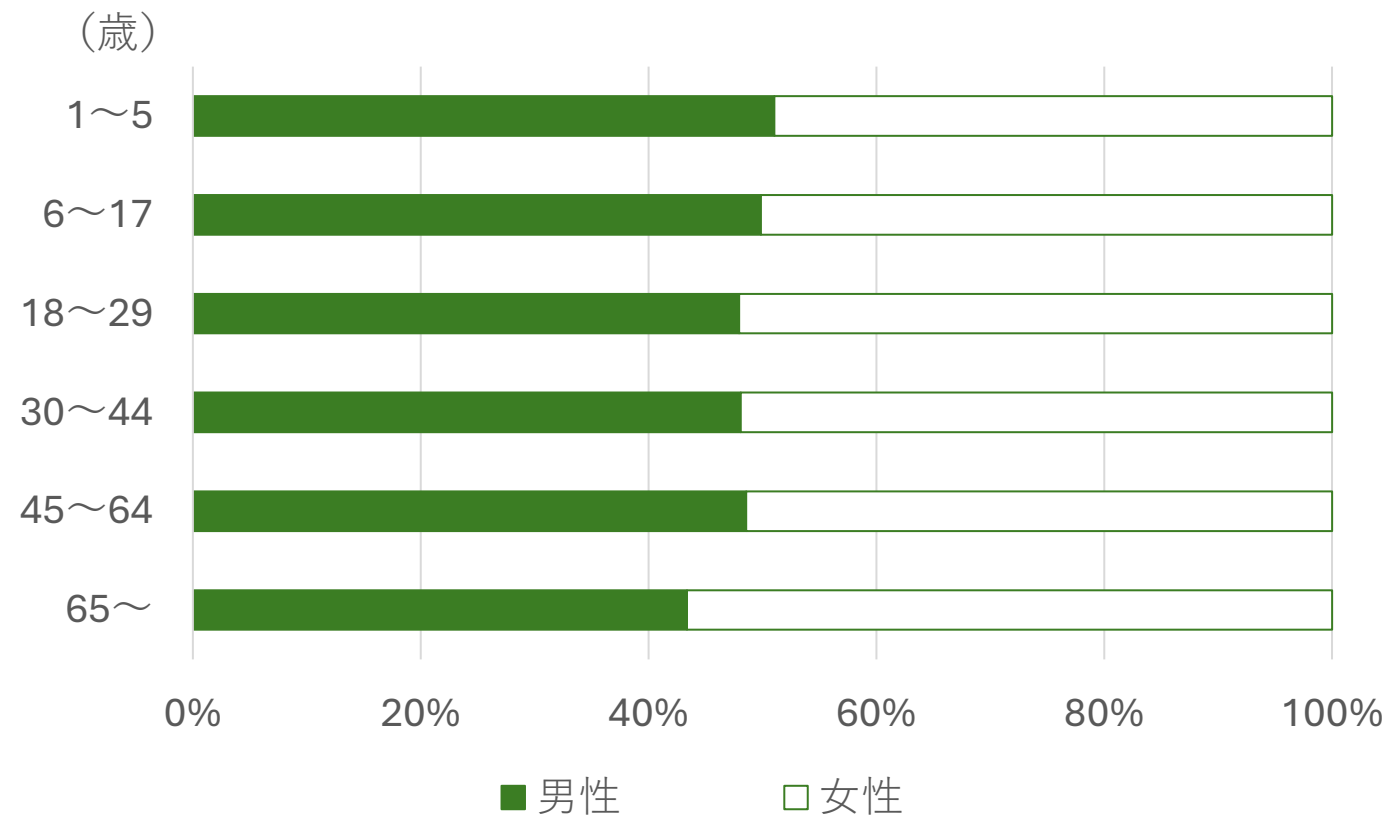


図3 アンケート回答者の性別割合、ライフステージ別

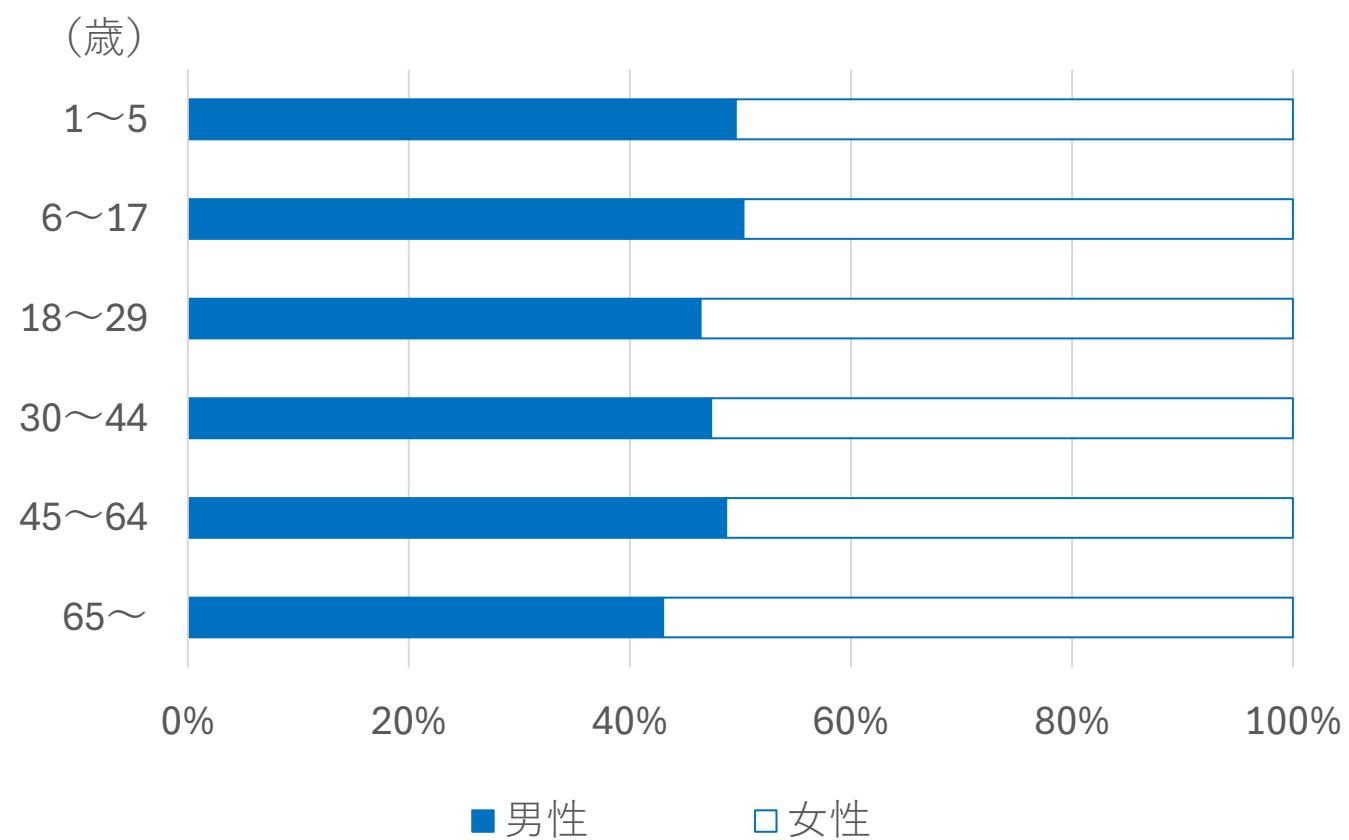


表2 口腔内診査受診者の居住地別（保健所、保健所設置市別）の人数、ライフステージ別

	北九州市	福岡市	久留米市	筑紫	粕屋	糸島	宗像・遠賀	嘉穂・鞍手	田川	北筑後	南筑後	京築
総数	410	750	137	214	135	33	137	130	54	106	152	84
1~5	70	128	22	36	25	0	23	16	8	16	24	12
6~17	63	115	23	41	25	11	28	23	9	17	25	14
18~29	65	154	22	31	20	6	17	19	7	18	21	13
30~44	66	136	23	36	27	7	21	21	8	13	21	14
45~64	70	123	22	34	22	4	23	21	9	18	27	16
65~	76	94	25	36	16	5	25	30	13	24	34	15

注：口腔内診査を受診した人のうち、2人が居住地について無回答・不明。

図4 口腔内診査受診者数、ライフステージ別

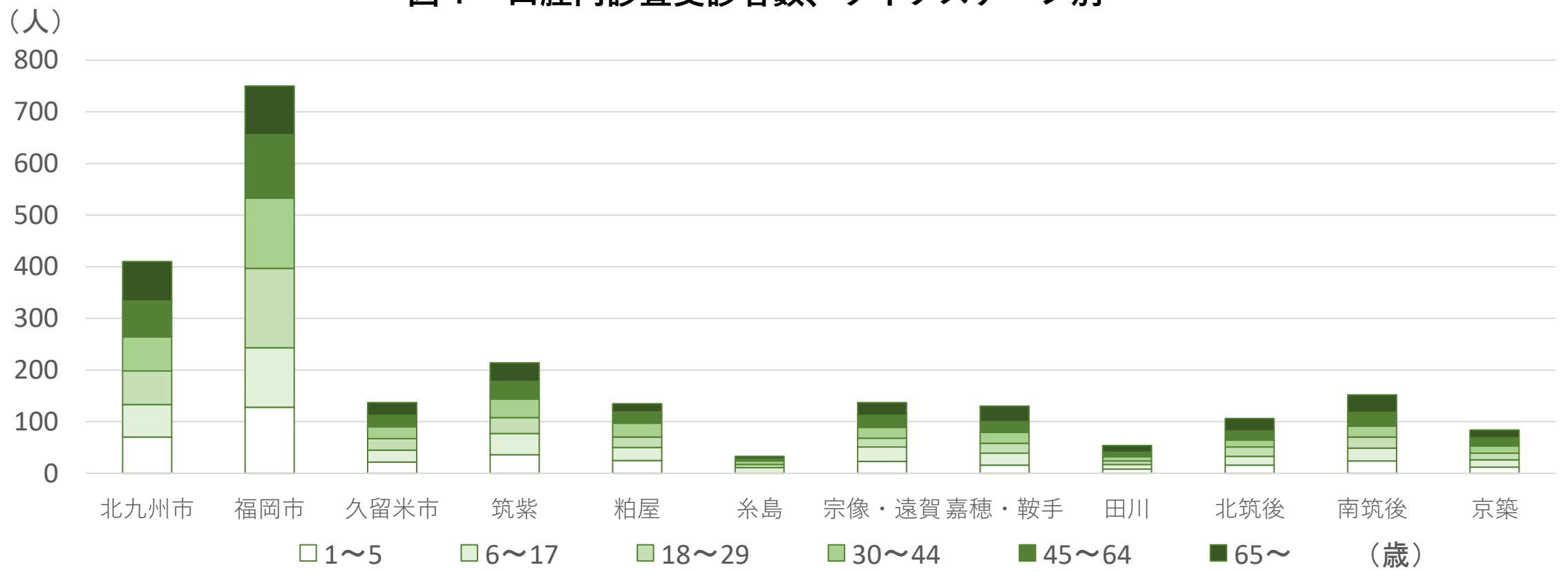
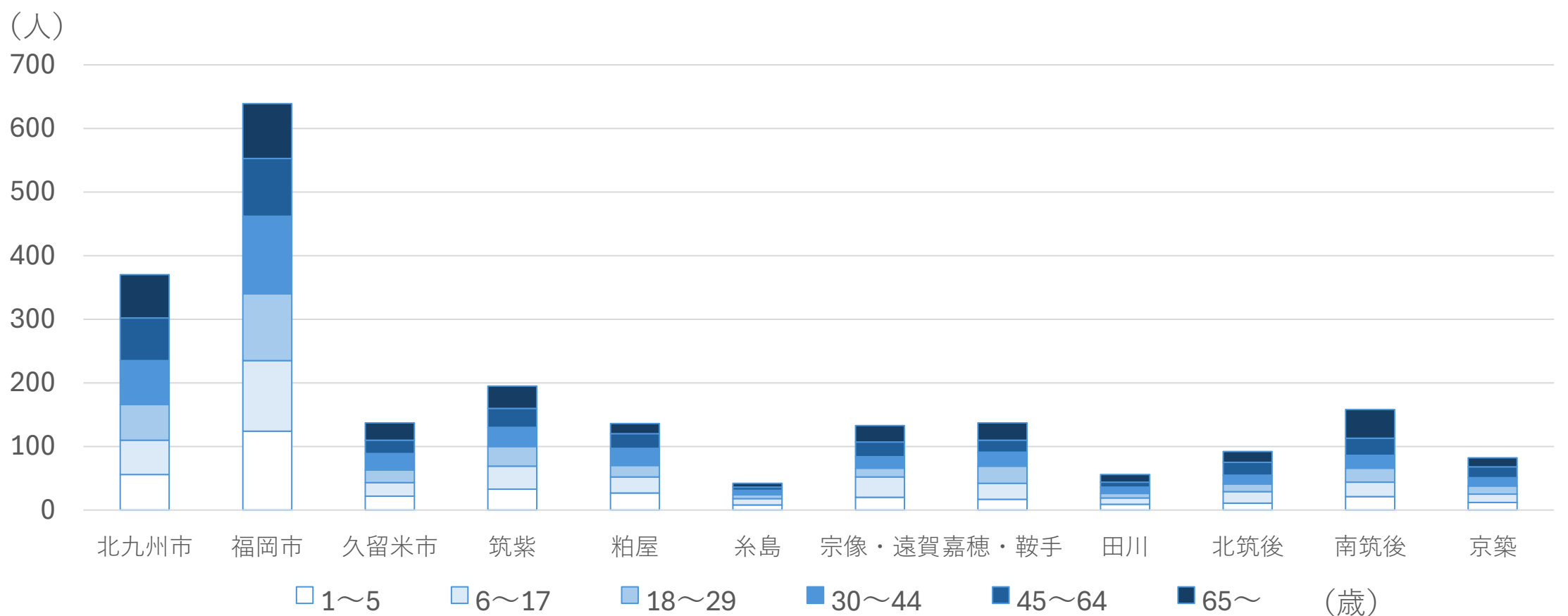


表3 アンケート回答者の居住地別（保健所、保健所設置市別）の人数、ライフステージ別

	北九州市	福岡市	久留米市	筑紫	粕屋	糸島	宗像・遠賀	嘉穂・鞍手	田川	北筑後	南筑後	京築
総数	370	639	137	195	136	42	133	137	56	92	158	82
1~5	56	124	22	33	27	8	20	17	9	11	21	12
6~17	54	111	21	36	25	10	32	25	10	18	23	13
18~29	56	105	20	31	18	6	14	27	7	12	22	13
30~44	69	122	26	30	27	7	18	22	10	14	20	13
45~64	67	91	21	30	23	5	23	19	8	20	27	17
65~	68	86	27	35	16	6	26	27	12	17	45	14

注：アンケートを回答した人のうち、2人が居住地について無回答・不明。

図5 アンケート回答者の居住地別（保健所、保健所設置市別）の人数、ライフステージ別



第2章 調査の概要

第1部 口腔内診査

1. 歯・補綴の状況

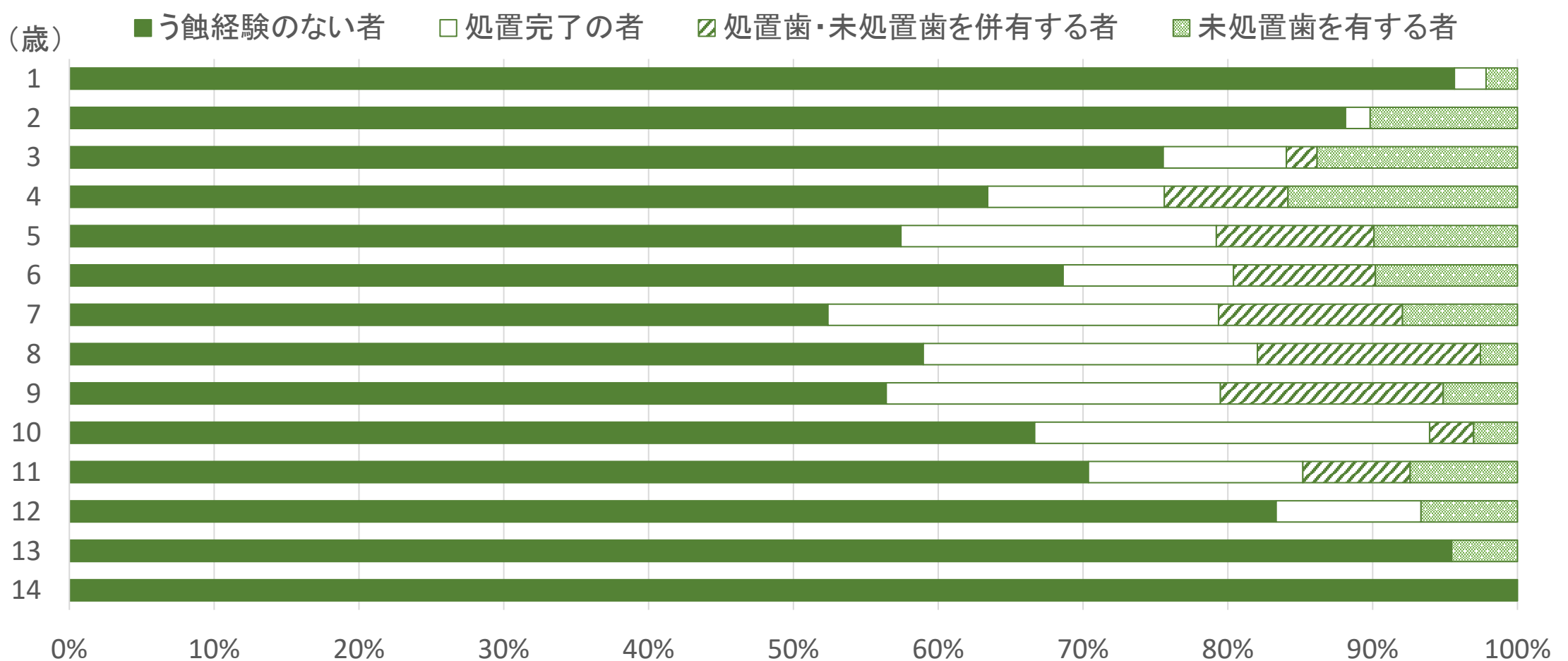
(1) 乳歯

う蝕経験を有する者の割合は、7歳で最も高く47.6%であった。また、未処置のう歯を持つ者の割合（処置歯・未処置歯を併有する者と未処置歯を有する者の合計）は、4歳が24.4%で最も高かった（表4、図6）。

表4 う蝕経験を有する者の数および割合、年齢別（乳歯：1～14歳）

年齢 (歳)	被調査 者数 (人)	人数 (人)						割合 (%)				
		う蝕経 験のな い者	う蝕経験を有する者				う蝕経 験のな い者	う蝕経験を有する者				
			総数	処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置歯 を有する 者		総数	処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置歯 を有する 者	
総数	716	507	209	99	48	62	70.8	29.2	13.8	6.7	8.7	
1	46	44	2	1	0	1	95.7	4.3	2.2	0.0	2.2	
2	59	52	7	1	0	6	88.1	11.9	1.7	0.0	10.2	
3	94	71	23	8	2	13	75.5	24.5	8.5	2.1	13.8	
4	82	52	30	10	7	13	63.4	36.6	12.2	8.5	15.9	
5	101	58	43	22	11	10	57.4	42.6	21.8	10.9	9.9	
6	51	35	16	6	5	5	68.6	31.4	11.8	9.8	9.8	
7	63	33	30	17	8	5	52.4	47.6	27.0	12.7	7.9	
8	39	23	16	9	6	1	59.0	41.0	23.1	15.4	2.6	
9	39	22	17	9	6	2	56.4	43.6	23.1	15.4	5.1	
10	33	22	11	9	1	1	66.7	33.3	27.3	3.0	3.0	
11	27	19	8	4	2	2	70.4	29.6	14.8	7.4	7.4	
12	30	25	5	3	0	2	83.3	16.7	10.0	0.0	6.7	
13	22	21	1	0	0	1	95.5	4.5	0.0	0.0	4.5	
14	30	30	0	0	0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

図6 う蝕経験を有する者の割合、年齢別（乳歯：1～14歳）



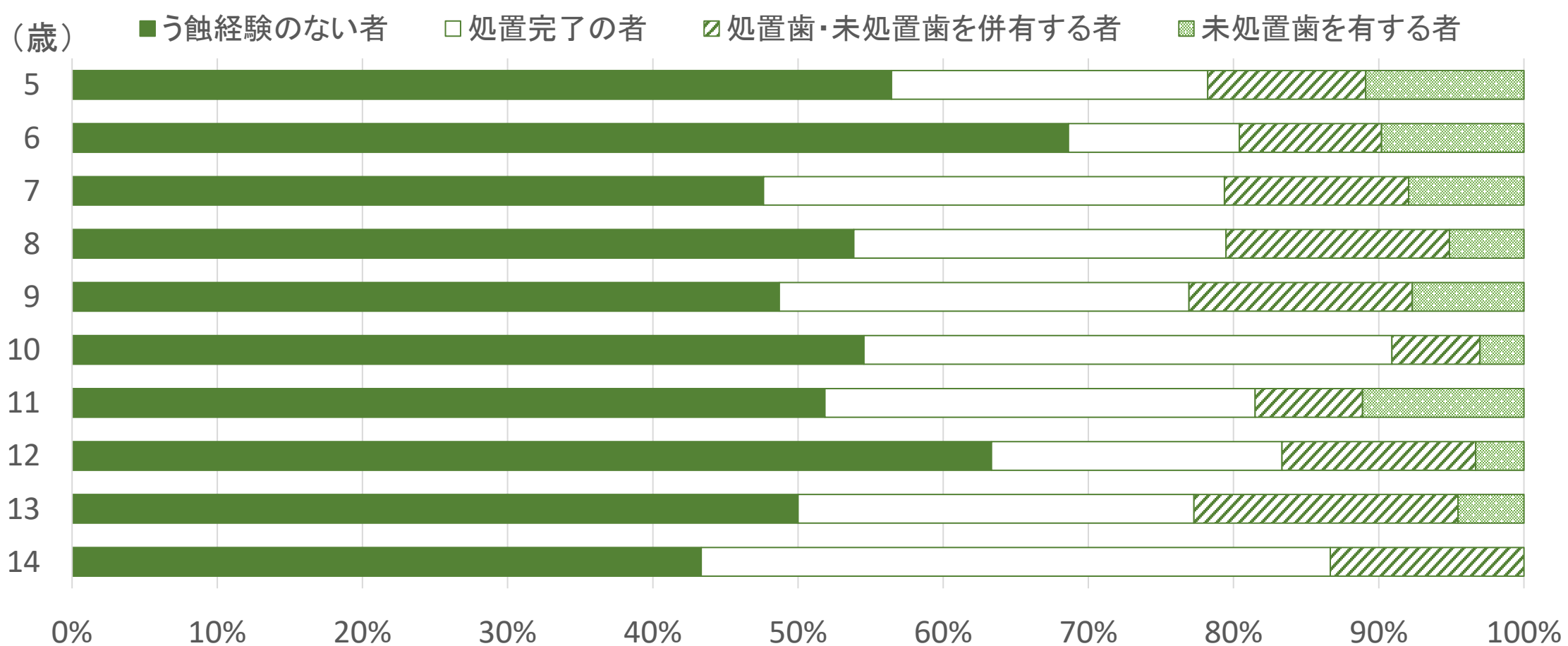
(2) 乳歯＋永久歯

5～14歳の被調査者のうち、45.5%が乳歯又は永久歯にう蝕経験を有していた。また、未処置のう歯を持つ者の割合（処置歯・未処置歯を併有する者と未処置歯を有する者の合計）は、9歳が23.1%で最も高かった（表5、図7）。

表5 う蝕経験を有する者の数および割合、年齢別（乳歯＋永久歯：5～14歳）

年齢 (歳)	被調査 者数 (人)	人数 (人)					割合 (%)				
		う蝕経 験のな い者	総数	う蝕経験を有する者			う蝕経 験のな い者	総数	う蝕経験を有する者		
				処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置歯 を有する 者			処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置歯 を有する 者
総数	435	237	198	114	52	32	54.5	45.5	26.2	12.0	7.4
5	101	57	44	22	11	11	56.4	43.6	21.8	10.9	10.9
6	51	35	16	6	5	5	68.6	31.4	11.8	9.8	9.8
7	63	30	33	20	8	5	47.6	52.4	31.7	12.7	7.9
8	39	21	18	10	6	2	53.8	46.2	25.6	15.4	5.1
9	39	19	20	11	6	3	48.7	51.3	28.2	15.4	7.7
10	33	18	15	12	2	1	54.5	45.5	36.4	6.1	3.0
11	27	14	13	8	2	3	51.9	48.1	29.6	7.4	11.1
12	30	19	11	6	4	1	63.3	36.7	20.0	13.3	3.3
13	22	11	11	6	4	1	50.0	50.0	27.3	18.2	4.5
14	30	13	17	13	4	0	43.3	56.7	43.3	13.3	0.0

図7 う蝕経験を有する者の割合、年齢別（乳歯＋永久歯：5～14歳）



(3) 永久歯

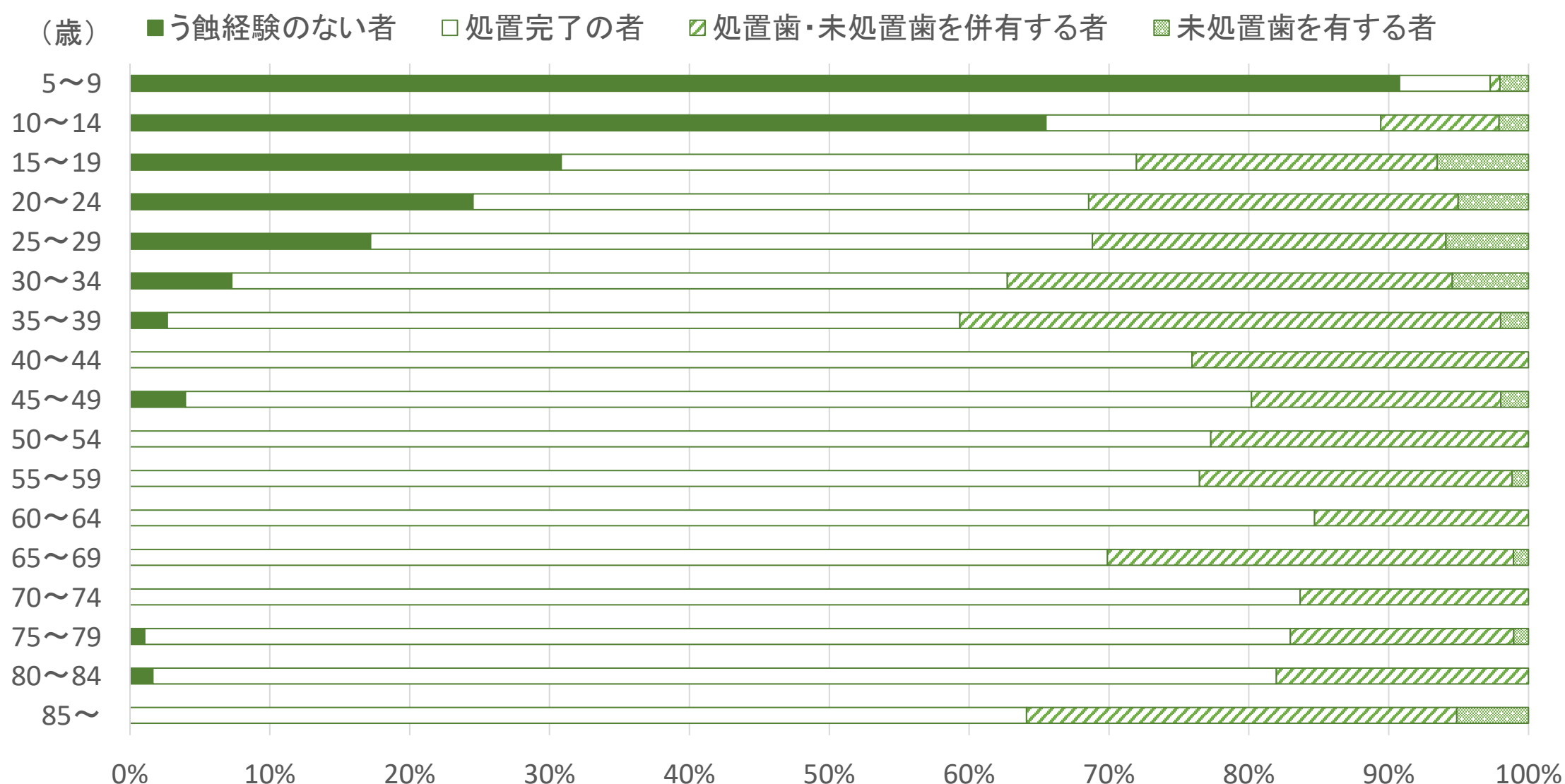
①う蝕の状況

う蝕経験を有する者の割合は、5～9歳では9.2%であったが、30歳以上では90%以上と高かった（表6、図8）。また、未処置の根面う蝕を有する者は20歳以降から存在し、未処置の根面う蝕を有する者の割合は、85歳以上が14.0%で最も高かった（表6）。

表6 う蝕経験を有する者の数および割合、年齢階級別（永久歯：5歳以上）

年齢階級(歳)	被調査者数(人)	人数(人)						割合(%)					
		う蝕経験のない者	総数	う蝕経験を有する者			未処置の根面う蝕を有する者	う蝕経験のない者	総数	う蝕経験を有する者			未処置の根面う蝕を有する者
				処置完了の者	処置歯・未処置歯を併有する者	未処置歯を有する者				処置完了の者	処置歯・未処置歯を併有する者	未処置歯を有する者	
5～9	293	266	27	19	2	6	0	90.8	9.2	6.5	0.7	2.0	0.0
10～14	142	93	49	34	12	3	0	65.5	34.5	23.9	8.5	2.1	0.0
15～19	107	33	74	44	23	7	0	30.8	69.2	41.1	21.5	6.5	0.0
20～24	159	39	120	70	42	8	2	24.5	75.5	44.0	26.4	5.0	1.3
25～29	187	32	154	96	47	11	3	17.1	82.4	51.3	25.1	5.9	1.6
30～34	110	8	102	61	35	6	0	7.3	92.7	55.5	31.8	5.5	0.0
35～39	150	4	146	85	58	3	5	2.7	97.3	56.7	38.7	2.0	3.3
40～44	133	0	133	101	32	0	3	0.0	100.0	75.9	24.1	0.0	2.3
45～49	104	4	97	77	18	2	0	3.8	93.3	74.0	17.3	1.9	0.0
50～54	111	0	110	85	25	0	1	0.0	99.1	76.6	22.5	0.0	0.9
55～59	87	0	85	65	19	1	2	0.0	97.7	74.7	21.8	1.1	2.3
60～64	87	0	85	72	13	0	4	0.0	97.7	82.8	14.9	0.0	4.6
65～69	93	0	93	65	27	1	8	0.0	100.0	69.9	29.0	1.1	8.6
70～74	98	0	98	82	16	0	5	0.0	100.0	83.7	16.3	0.0	5.1
75～79	97	1	93	77	15	1	7	1.0	95.9	79.4	15.5	1.0	7.2
80～84	62	1	60	49	11	0	4	1.6	96.8	79.0	17.7	0.0	6.5
85～	43	0	39	25	12	2	6	0.0	90.7	58.1	27.9	4.7	14.0

図8 う蝕経験を有する者の割合、年齢階級別（永久歯：5歳以上）

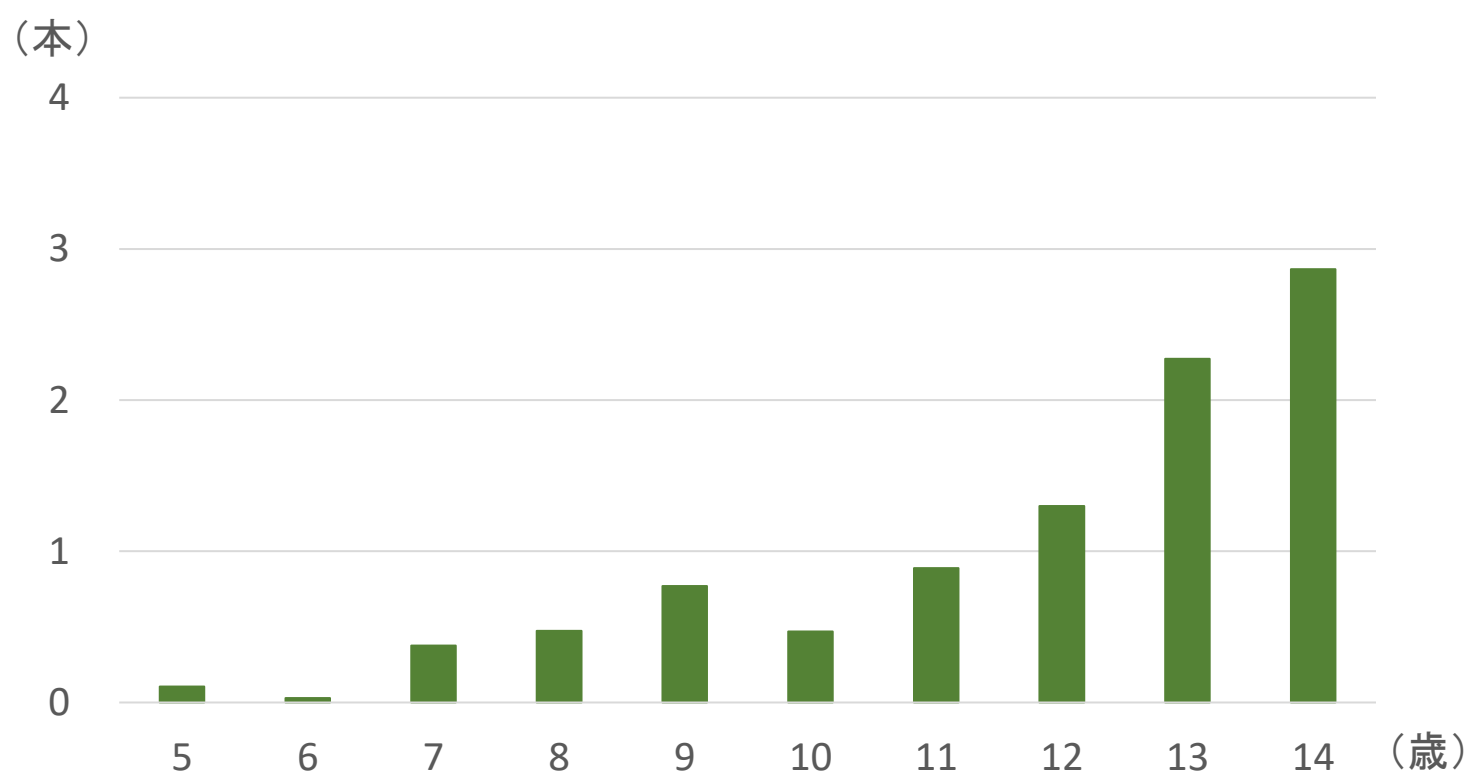


5歳以上から15歳未満の1人平均DMF歯数（DMFT指数）は、年齢が上がるにつれて概ね増加傾向であった（表7、図9）。

表7 1人平均DMF歯数（DMFT指数）（永久歯：5～14歳）

年齢（歳）	DMFT指数（本）
5	0.1
6	0.0
7	0.4
8	0.5
9	0.8
10	0.5
11	0.9
12	1.3
13	2.3
14	2.9

図9 1人平均DMF歯数（DMFT指数）（永久歯：5～14歳）

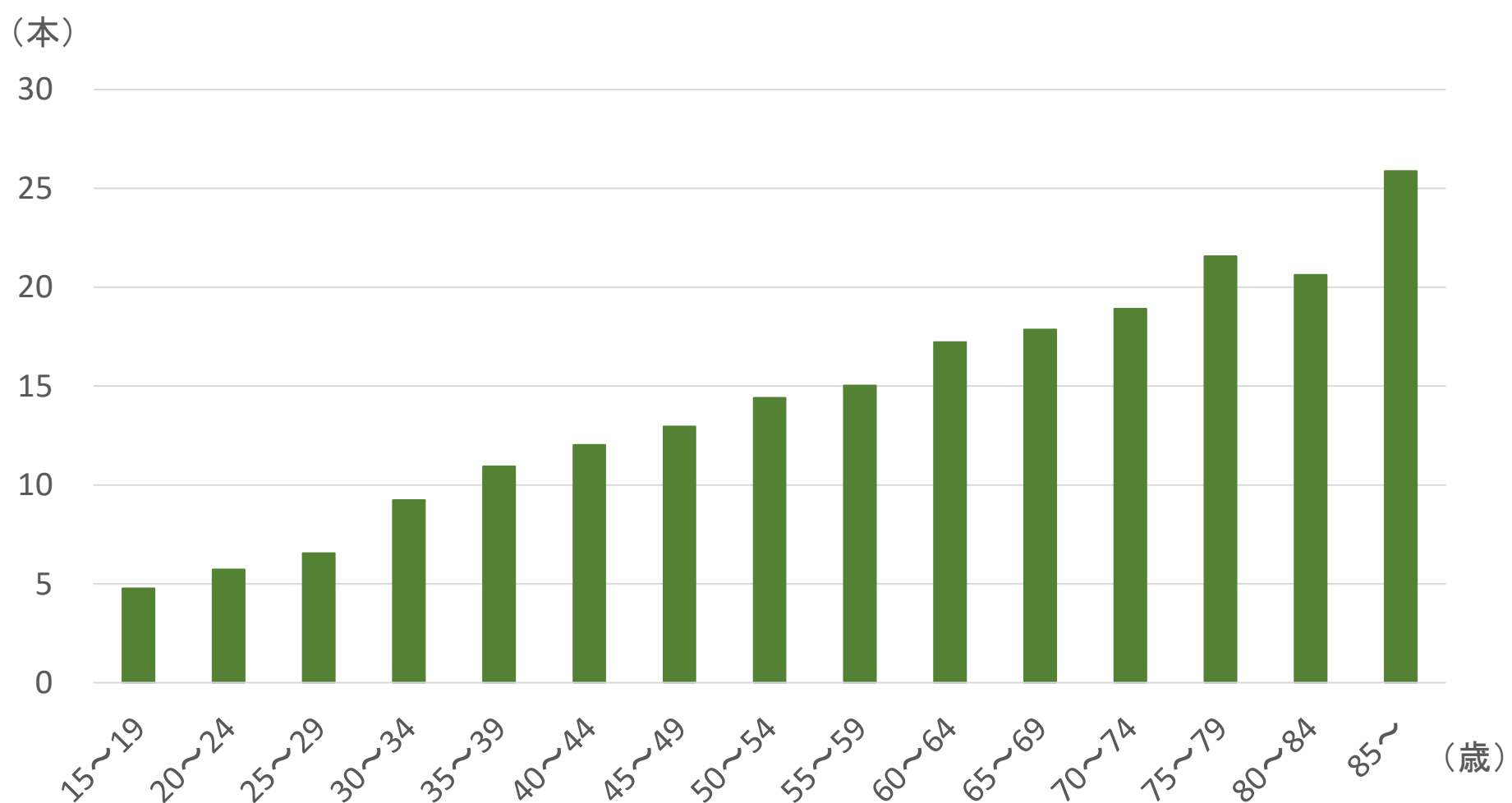


15歳以上の1人平均DMF歯数（DMFT指数）は、年齢階級が上がるにつれて増加傾向であった（表8、図10）。

表8 1人平均DMF歯数（DMFT指数）（永久歯：15歳以上）

年齢階級（歳）	DMFT指数（本）
15～19	4.8
20～24	5.7
25～29	6.6
30～34	9.2
35～39	10.9
40～44	12.0
45～49	13.0
50～54	14.4
55～59	15.0
60～64	17.2
65～69	17.9
70～74	18.9
75～79	21.6
80～84	20.6
85～	25.9

図10 1人平均DMF歯数（DMFT指数）（永久歯：15歳以上）



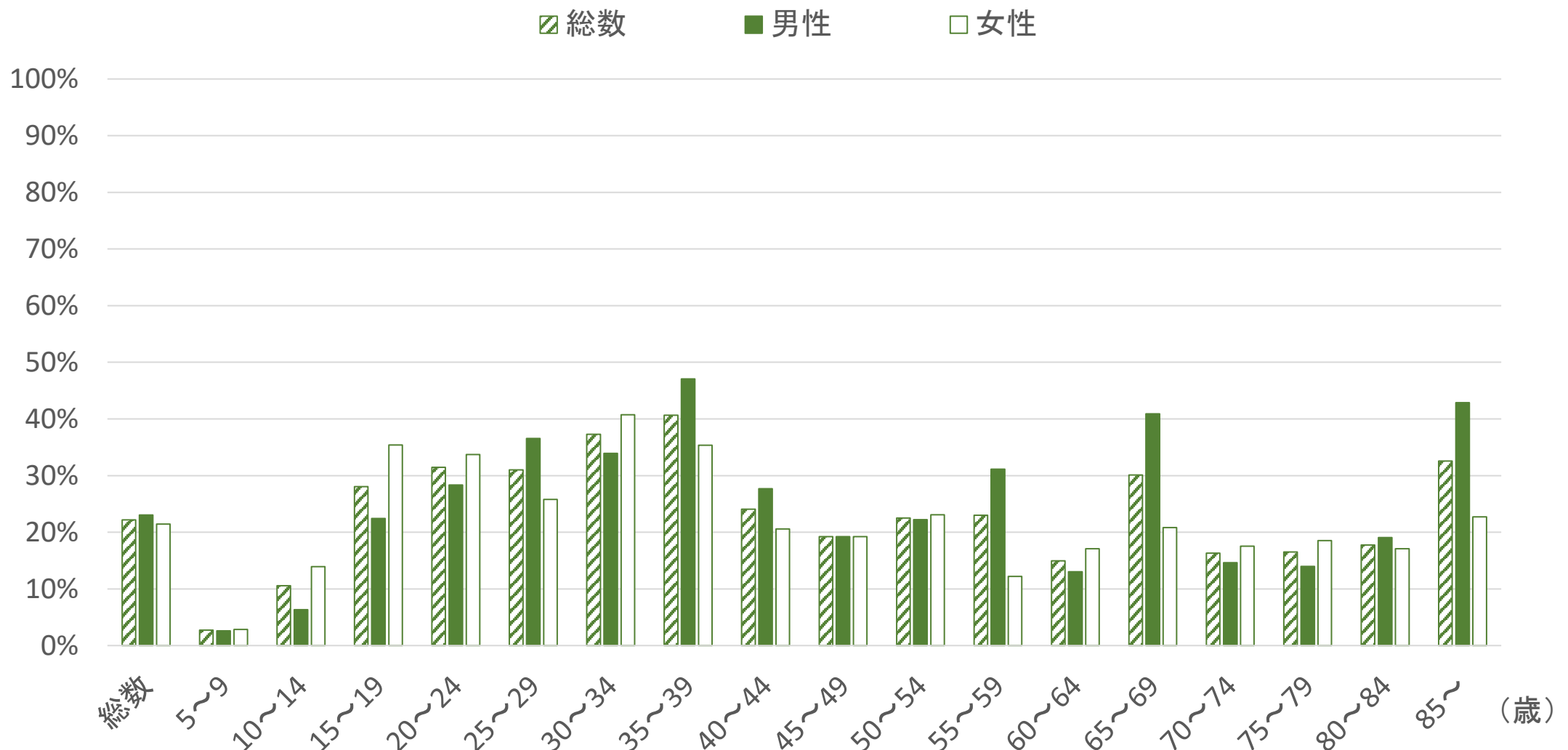
未処置のう歯を有する者の割合（処置歯・未処置歯を併有する者と未処置歯を有する者の合計）は、全体では22.2%であり、特に20歳以上40歳未満はいずれの年齢階級においても30%を超えていた（表9、図11）。

表9 未処置のう蝕を有する者の数および割合、性・年齢階級別（永久歯：5歳以上）

年齢階級 (歳)	総数			男性			女性		
	被調査者数 (人)	未処置のう 蝕を有する 者 (人)	未処置のう 蝕を有する 者の割合 (%)	被調査者数 (人)	未処置のう 蝕を有する 者 (人)	未処置のう 蝕を有する 者の割合 (%)	被調査者数 (人)	未処置のう 蝕を有する 者 (人)	未処置のう 蝕を有する 者の割合 (%)
総数	2063	458	22.2	981	226	23.0	1077	231	21.4
5～9	293	8	2.7	153	4	2.6	140	4	2.9
10～14	142	15	10.6	63	4	6.3	79	11	13.9
15～19	107	30	28.0	58	13	22.4	48	17	35.4
20～24	159	50	31.4	67	19	28.4	92	31	33.7
25～29	187	58	31.0	93	34	36.6	93	24	25.8
30～34	110	41	37.3	56	19	33.9	54	22	40.7
35～39	150	61	40.7	68	32	47.1	82	29	35.4
40～44	133	32	24.1	65	18	27.7	68	14	20.6
45～49	104	20	19.2	52	10	19.2	52	10	19.2
50～54	111	25	22.5	45	10	22.2	65	15	23.1
55～59	87	20	23.0	45	14	31.1	41	5	12.2
60～64	87	13	14.9	46	6	13.0	41	7	17.1
65～69	93	28	30.1	44	18	40.9	48	10	20.8
70～74	98	16	16.3	41	6	14.6	57	10	17.5
75～79	97	16	16.5	43	6	14.0	54	10	18.5
80～84	62	11	17.7	21	4	19.0	41	7	17.1
85～	43	14	32.6	21	9	42.9	22	5	22.7

注：総数には、性別が無回答・不明である5人を含む。

図11 未処置のう蝕を有する者の割合、性・年齢階級別（永久歯：5歳以上）



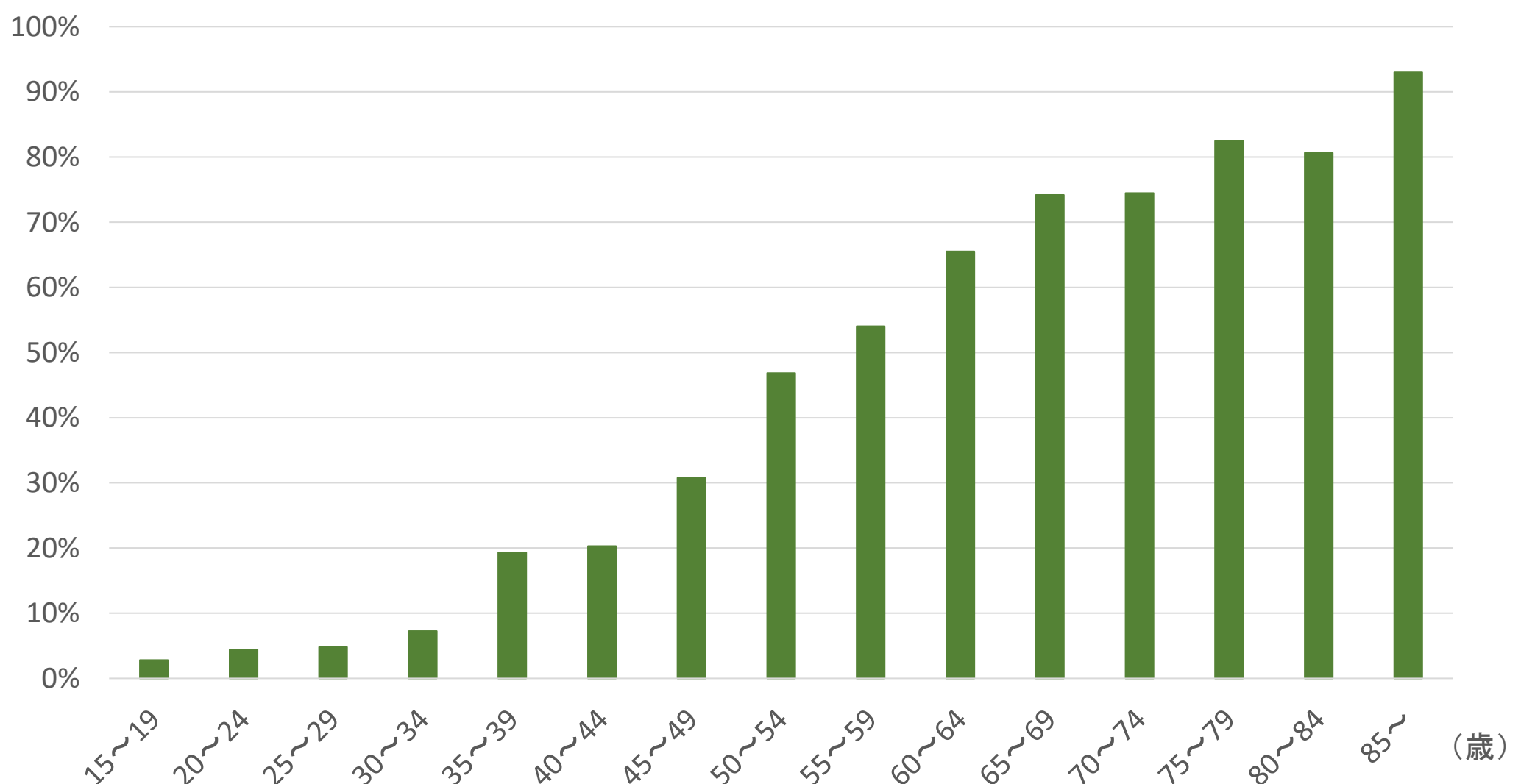
②喪失歯・補綴の状況

喪失歯を有する者の割合は、年齢階級が上がるにつれて高くなる傾向にあり、75歳以上で80%を超えていた（表10、図12）。

表10 喪失歯を有する者の数および割合、年齢階級別（永久歯：15歳以上）

年齢階級（歳）	被調査者数 （人）	喪失歯を有する者	
		人数（人）	割合（%）
15～19	107	3	2.8
20～24	159	7	4.4
25～29	187	9	4.8
30～34	110	8	7.3
35～39	150	29	19.3
40～44	133	27	20.3
45～49	104	32	30.8
50～54	111	52	46.8
55～59	87	47	54.0
60～64	87	57	65.5
65～69	93	69	74.2
70～74	98	73	74.5
75～79	97	80	82.5
80～84	62	50	80.6
85～	43	40	93.0

図12 喪失歯を有する者の割合、年齢階級別（永久歯：15歳以上）

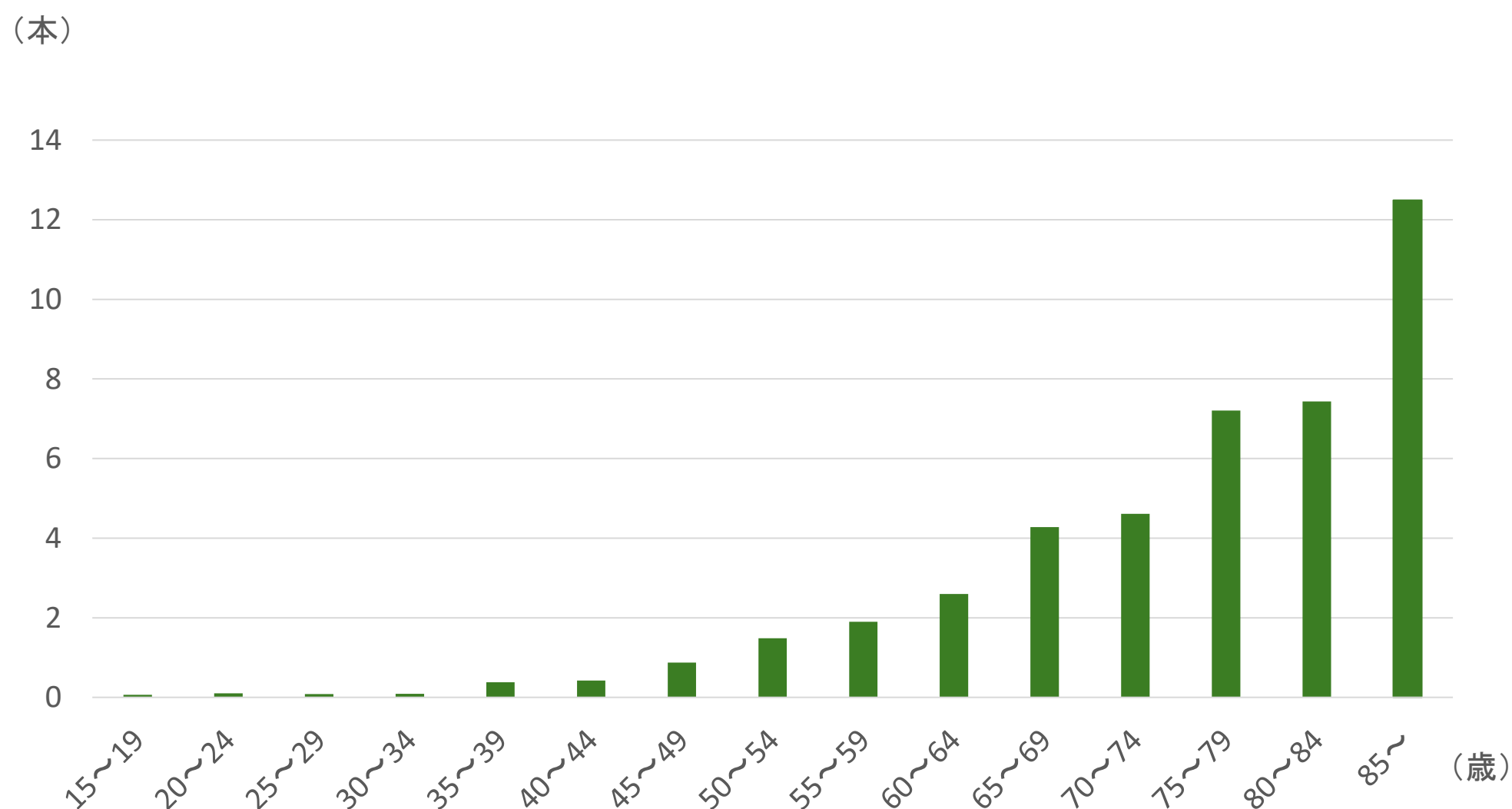


1人平均喪失歯数は、50歳未満では1本に満たないが、75歳以上では7本を上回り、特に85歳以上では約12本であった（表11、図13）。

表11 1人平均喪失歯数、年齢階級別（永久歯：15歳以上）

年齢階級（歳）	被調査者数（人）	1人平均喪失歯数（本）
15～19	107	0.1
20～24	159	0.1
25～29	187	0.1
30～34	110	0.1
35～39	150	0.4
40～44	133	0.4
45～49	104	0.9
50～54	111	1.5
55～59	87	1.9
60～64	87	2.6
65～69	93	4.3
70～74	98	4.6
75～79	97	7.2
80～84	62	7.4
85～	43	12.5

図13 1人平均喪失歯数、年齢階級別（永久歯：15歳以上）



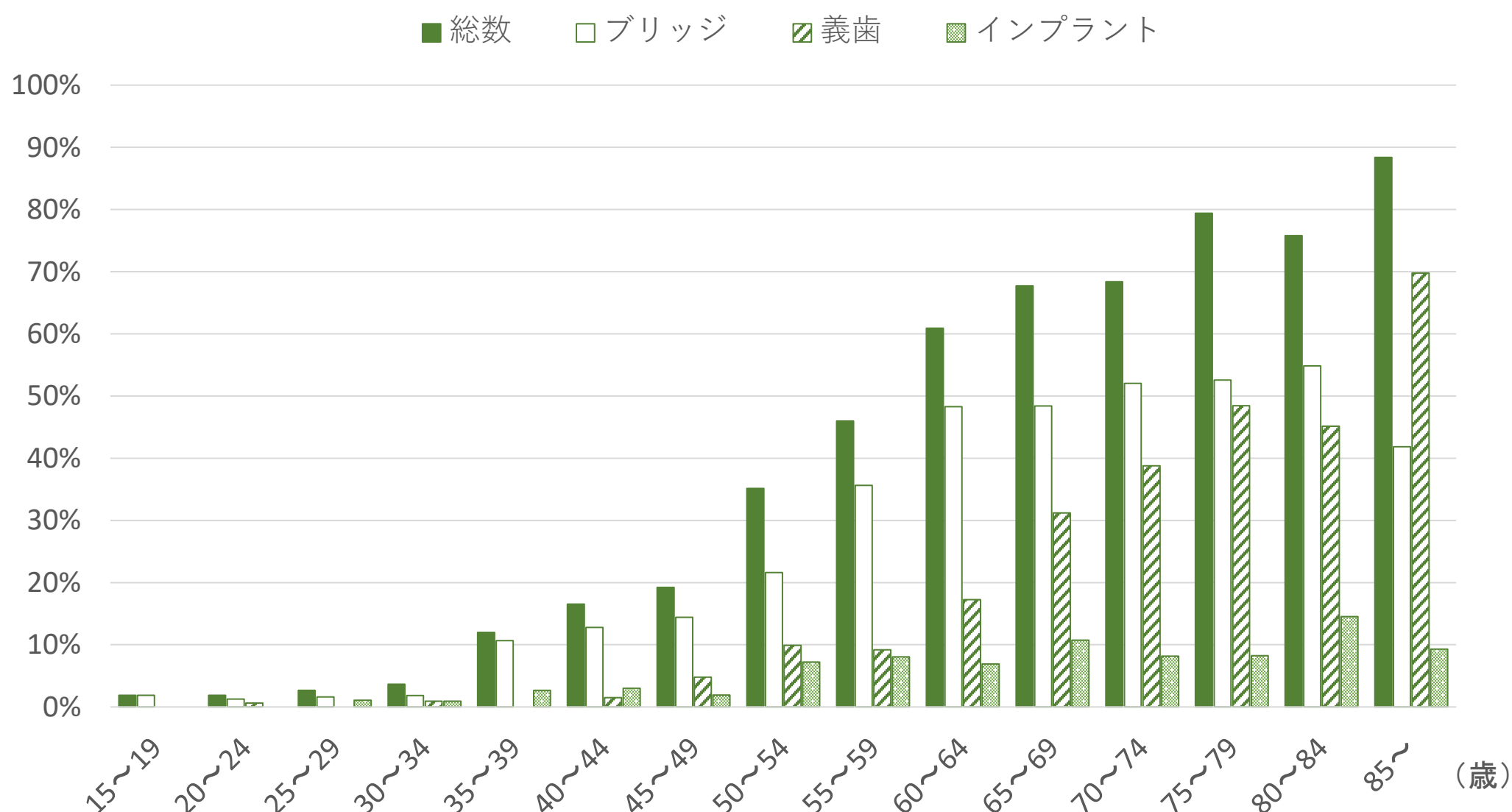
補綴装置の装着者は、60歳以上で半数を上回った。内訳は、85歳未満ではブリッジが最も高かった。インプラント装着者の割合は、80～84歳が14.5%で最も高かった（表12、図14）。

表12 補綴装置の装着の有無と各補綴装置者の数および割合、年齢階級別（永久歯：15歳以上）

年齢階級(歳)	被調査者数(人)	補綴装置を装着している者(人)				補綴装置を装着している者の割合(%)			
		総数 ¹⁾	ブリッジ装着者	義歯装着者	インプラント装着者	総数 ¹⁾	ブリッジ装着者	義歯装着者	インプラント装着者
15～19	107	2	2	0	0	1.9	1.9	0.0	0.0
20～24	159	3	2	1	0	1.9	1.3	0.6	0.0
25～29	187	5	3	0	2	2.7	1.6	0.0	1.1
30～34	110	4	2	1	1	3.6	1.8	0.9	0.9
35～39	150	18	16	0	4	12.0	10.7	0.0	2.7
40～44	133	22	17	2	4	16.5	12.8	1.5	3.0
45～49	104	20	15	5	2	19.2	14.4	4.8	1.9
50～54	111	39	24	11	8	35.1	21.6	9.9	7.2
55～59	87	40	31	8	7	46.0	35.6	9.2	8.0
60～64	87	53	42	15	6	60.9	48.3	17.2	6.9
65～69	93	63	45	29	10	67.7	48.4	31.2	10.8
70～74	98	67	51	38	8	68.4	52.0	38.8	8.2
75～79	97	77	51	47	8	79.4	52.6	48.5	8.2
80～84	62	47	34	28	9	75.8	54.8	45.2	14.5
85～	43	38	18	30	4	88.4	41.9	69.8	9.3

1) いずれか1つでも装着している者

図14 補綴装置の装着の有無と各補綴装置者の割合、年齢階級別（永久歯：15歳以上）



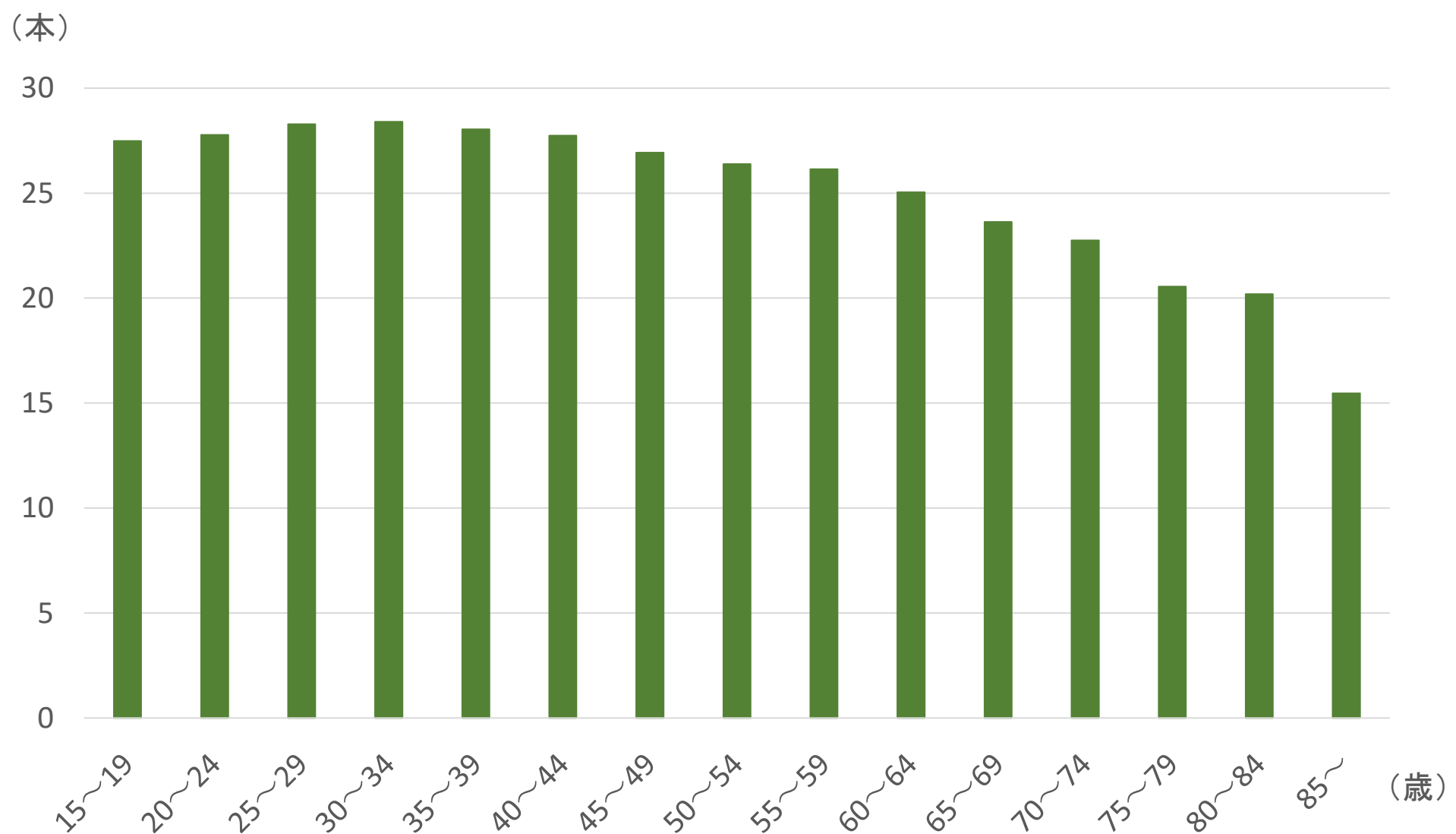
③現在歯の状況

1人平均現在歯数は、65歳未満の年齢階級では24本より多かった。また、85歳以上を除くいずれの年齢階級においても20本より多かった（表13、図15）。

表13 1人平均現在歯数、年齢階級別（永久歯：15歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	1人平均現在歯数 (本)
15～19	107	27.5
20～24	159	27.8
25～29	187	28.3
30～34	110	28.4
35～39	150	28.0
40～44	133	27.7
45～49	104	26.9
50～54	111	26.4
55～59	87	26.1
60～64	87	25.0
65～69	93	23.6
70～74	98	22.7
75～79	97	20.5
80～84	62	20.2
85～	43	15.5

図15 1人平均現在歯数、年齢階級別（永久歯：15歳以上）



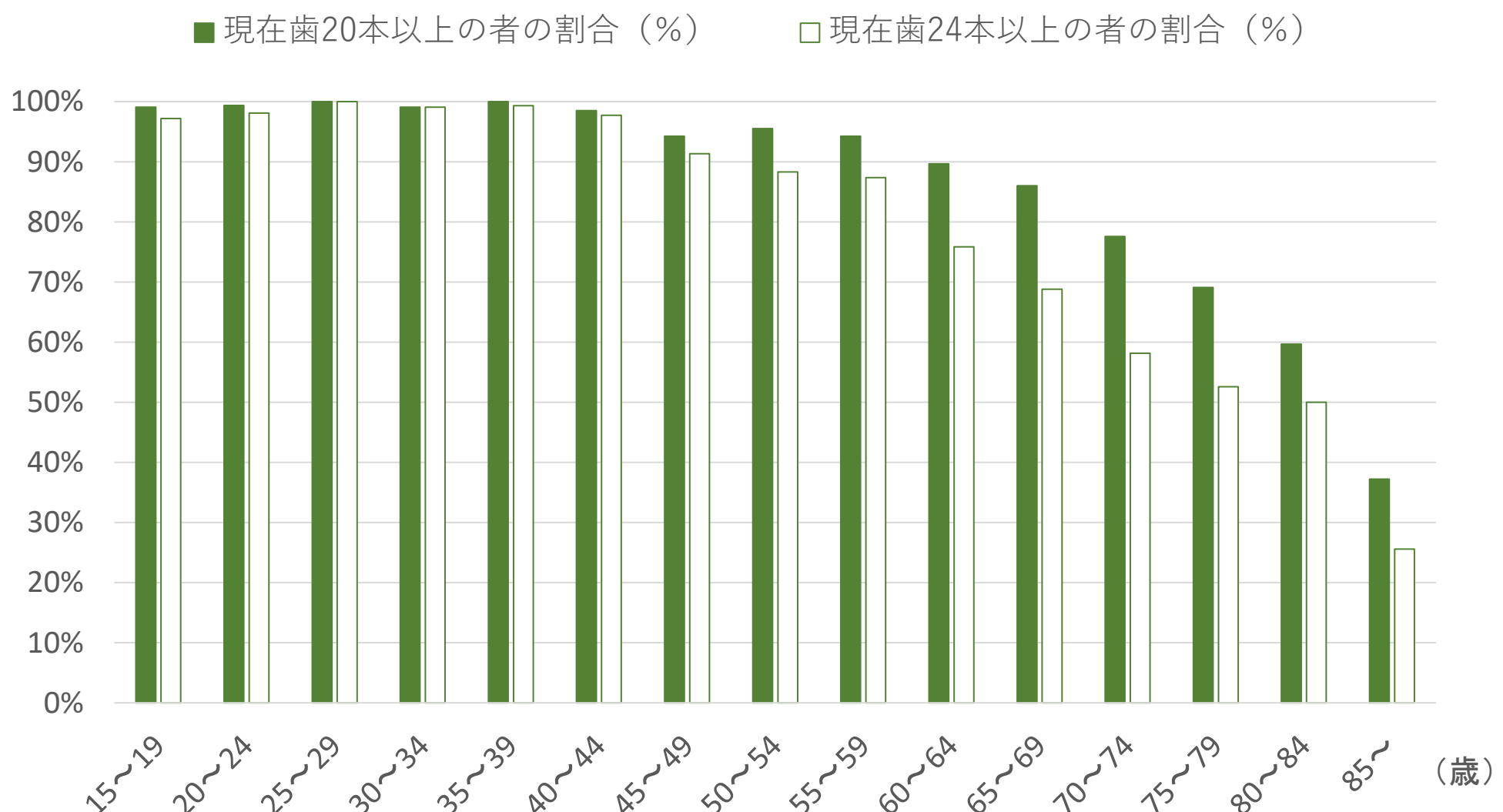
20本以上の歯を有する者の割合は、60歳以上の年齢階級では90%より低かった（表14、図16）。

8020達成者の割合（80歳で20本以上の歯を有する者の割合）は、75歳以上85歳未満の20本以上の歯を有する者の割合から約65.4%と推計された。

表14 現在歯20本以上、24本以上の歯を有する者の数および割合、年齢階級別（永久歯：15歳以上）

年齢階級（歳）	被調査者数（人）	現在歯20本以上の者（人）	現在歯20本以上の者の割合（%）	現在歯24本以上の者（人）	現在歯24本以上の者の割合（%）
15～19	107	106	99.1	104	97.2
20～24	159	158	99.4	156	98.1
25～29	187	187	100.0	187	100.0
30～34	110	109	99.1	109	99.1
35～39	150	150	100.0	149	99.3
40～44	133	131	98.5	130	97.7
45～49	104	98	94.2	95	91.3
50～54	111	106	95.5	98	88.3
55～59	87	82	94.3	76	87.4
60～64	87	78	89.7	66	75.9
65～69	93	80	86.0	64	68.8
70～74	98	76	77.6	57	58.2
75～79	97	67	69.1	51	52.6
80～84	62	37	59.7	31	50.0
85～	43	16	37.2	11	25.6

図16 現在歯20本以上、24本以上の歯を有する者の割合、年齢階級別（永久歯：15歳以上）



2. 歯肉の状況

歯肉出血を有する者の割合は10～14歳が30.3%で最も低く、55～59歳が69.0%で最も高かった（表15、図17）。

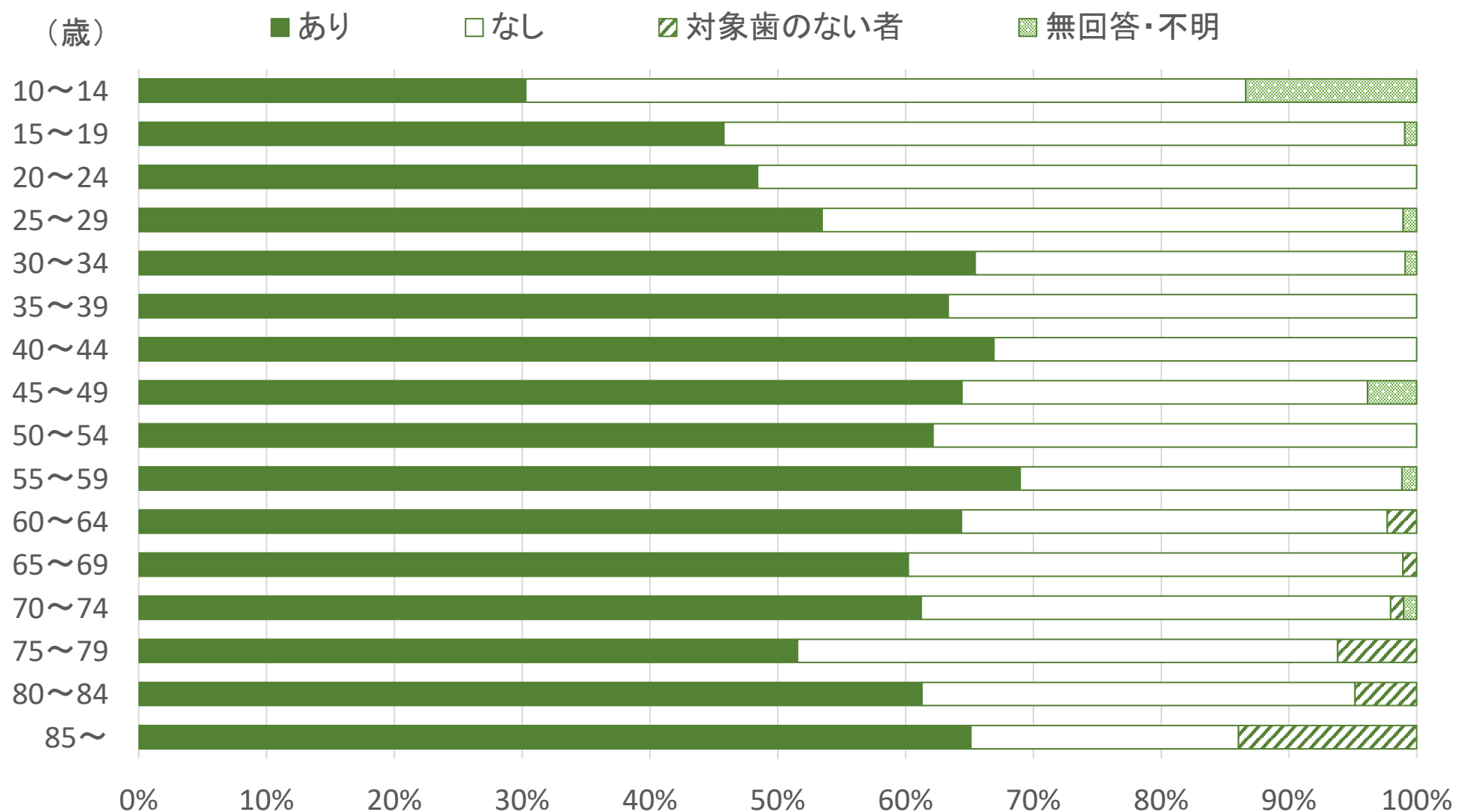
表15 歯肉出血を有する者の割合、性・年齢階級別（10歳以上）

(%)

年齢階級 (歳)	総数				男性				女性			
	あり	なし	対象歯の ない者	無回答・ 不明	あり	なし	対象歯の ない者	無回答・ 不明	あり	なし	対象歯の ない者	無回答・ 不明
10～14	30.3	56.3	0.0	13.4	22.2	61.9	0.0	15.9	36.7	51.9	0.0	11.4
15～19	45.8	53.3	0.0	0.9	46.6	53.4	0.0	0.0	43.8	54.2	0.0	2.1
20～24	48.4	51.6	0.0	0.0	58.2	41.8	0.0	0.0	41.3	58.7	0.0	0.0
25～29	53.5	45.5	0.0	1.1	65.6	33.3	0.0	1.1	41.9	57.0	0.0	1.1
30～34	65.5	33.6	0.0	0.9	73.2	25.0	0.0	1.8	57.4	42.6	0.0	0.0
35～39	63.3	36.7	0.0	0.0	72.1	27.9	0.0	0.0	56.1	43.9	0.0	0.0
40～44	66.9	33.1	0.0	0.0	73.8	26.2	0.0	0.0	60.3	39.7	0.0	0.0
45～49	64.4	31.7	0.0	3.8	71.2	25.0	0.0	3.8	57.7	38.5	0.0	3.8
50～54	62.2	37.8	0.0	0.0	68.9	31.1	0.0	0.0	58.5	41.5	0.0	0.0
55～59	69.0	29.9	0.0	1.1	71.1	28.9	0.0	0.0	65.9	31.7	0.0	2.4
60～64	64.4	33.3	2.3	0.0	58.7	37.0	4.3	0.0	70.7	29.3	0.0	0.0
65～69	60.2	38.7	1.1	0.0	72.7	27.3	0.0	0.0	50.0	47.9	2.1	0.0
70～74	61.2	36.7	1.0	1.0	75.6	24.4	0.0	0.0	50.9	45.6	1.8	1.8
75～79	51.5	42.3	6.2	0.0	46.5	48.8	4.7	0.0	55.6	37.0	7.4	0.0
80～84	61.3	33.9	4.8	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0	63.4	29.3	7.3	0.0
85～	65.1	20.9	14.0	0.0	61.9	28.6	9.5	0.0	68.2	13.6	18.2	0.0

注：総数には、性別が無回答・不明である5人を含む。

図17 歯肉出血を有する者の割合、年齢階級別（10歳以上）



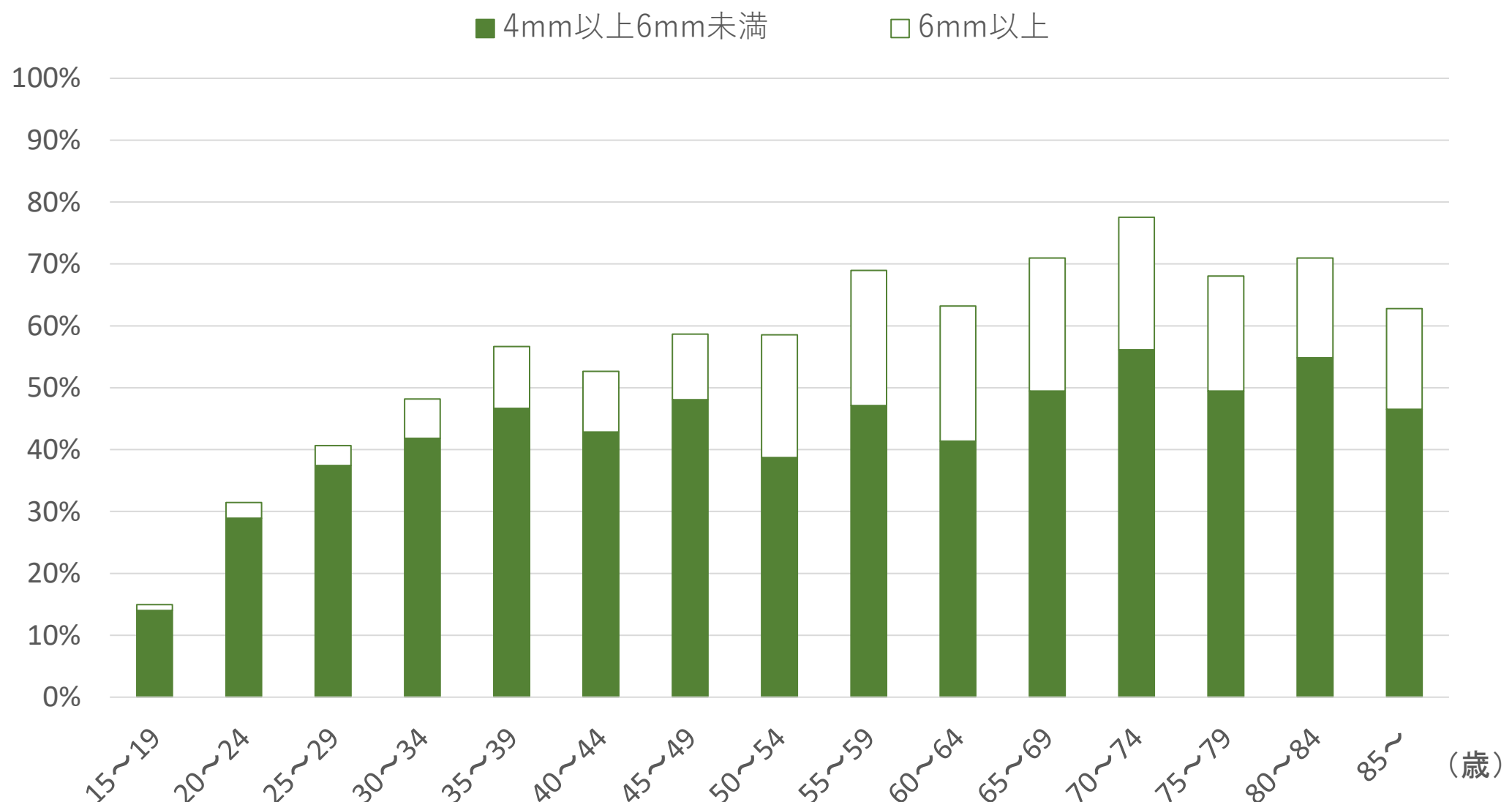
4 mm 以上の歯周ポケットを持つ者の割合は、15～19 歳が15.0%で最も低く、70～74歳が77.6%で最も高かった（表16、図18）。

表16 歯周ポケットを有する者の割合、性・年齢階級別（10歳以上）（%）

年齢階級 (歳)	総数					男性					女性				
	歯周ポケット（ポケットの深さ4mm以上）のある者			対象歯のない者	無回答・不明	歯周ポケット（ポケットの深さ4mm以上）のある者			対象歯のない者	無回答・不明	歯周ポケット（ポケットの深さ4mm以上）のある者			対象歯のない者	無回答・不明
	総数	4mm以上6mm未満	6mm以上			総数	4mm以上6mm未満	6mm以上			総数	4mm以上6mm未満	6mm以上		
15～19	15.0	14.0	0.9	0.0	0.9	12.1	10.3	1.7	0.0	0.0	18.8	18.8	0.0	0.0	2.1
20～24	31.4	28.9	2.5	0.0	0.0	38.8	32.8	6.0	0.0	0.0	26.1	26.1	0.0	0.0	0.0
25～29	40.6	37.4	3.2	0.0	1.1	49.5	45.2	4.3	0.0	1.1	32.3	30.1	2.2	0.0	1.1
30～34	48.2	41.8	6.4	0.0	0.9	44.6	37.5	7.1	0.0	1.8	51.9	46.3	5.6	0.0	0.0
35～39	56.7	46.7	10.0	0.0	0.0	63.2	52.9	10.3	0.0	0.0	51.2	41.5	9.8	0.0	0.0
40～44	52.6	42.9	9.8	0.0	0.0	66.2	49.2	16.9	0.0	0.0	39.7	36.8	2.9	0.0	0.0
45～49	58.7	48.1	10.6	0.0	3.8	63.5	48.1	15.4	0.0	3.8	53.8	48.1	5.8	0.0	3.8
50～54	58.6	38.7	19.8	0.0	0.0	71.1	51.1	20.0	0.0	0.0	50.8	30.8	20.0	0.0	0.0
55～59	69.0	47.1	21.8	0.0	1.1	71.1	46.7	24.4	0.0	0.0	65.9	46.3	19.5	0.0	2.4
60～64	63.2	41.4	21.8	2.3	0.0	56.5	28.3	28.3	4.3	0.0	70.7	56.1	14.6	0.0	0.0
65～69	71.0	49.5	21.5	1.1	0.0	81.8	50.0	31.8	0.0	0.0	62.5	50.0	12.5	2.1	0.0
70～74	77.6	56.1	21.4	1.0	1.0	82.9	58.5	24.4	0.0	0.0	73.7	54.4	19.3	1.8	1.8
75～79	68.0	49.5	18.6	6.2	0.0	65.1	51.2	14.0	4.7	0.0	70.4	48.1	22.2	7.4	0.0
80～84	71.0	54.8	16.1	4.8	0.0	76.2	47.6	28.6	0.0	0.0	68.3	58.5	9.8	7.3	0.0
85～	62.8	46.5	16.3	14.0	0.0	61.9	57.1	4.8	9.5	0.0	63.6	36.4	27.3	18.2	0.0

注：総数には、性別が無回答・不明である5人を含む。

図18 歯周ポケットを有する者の割合、年齢階級別（10歳以上）



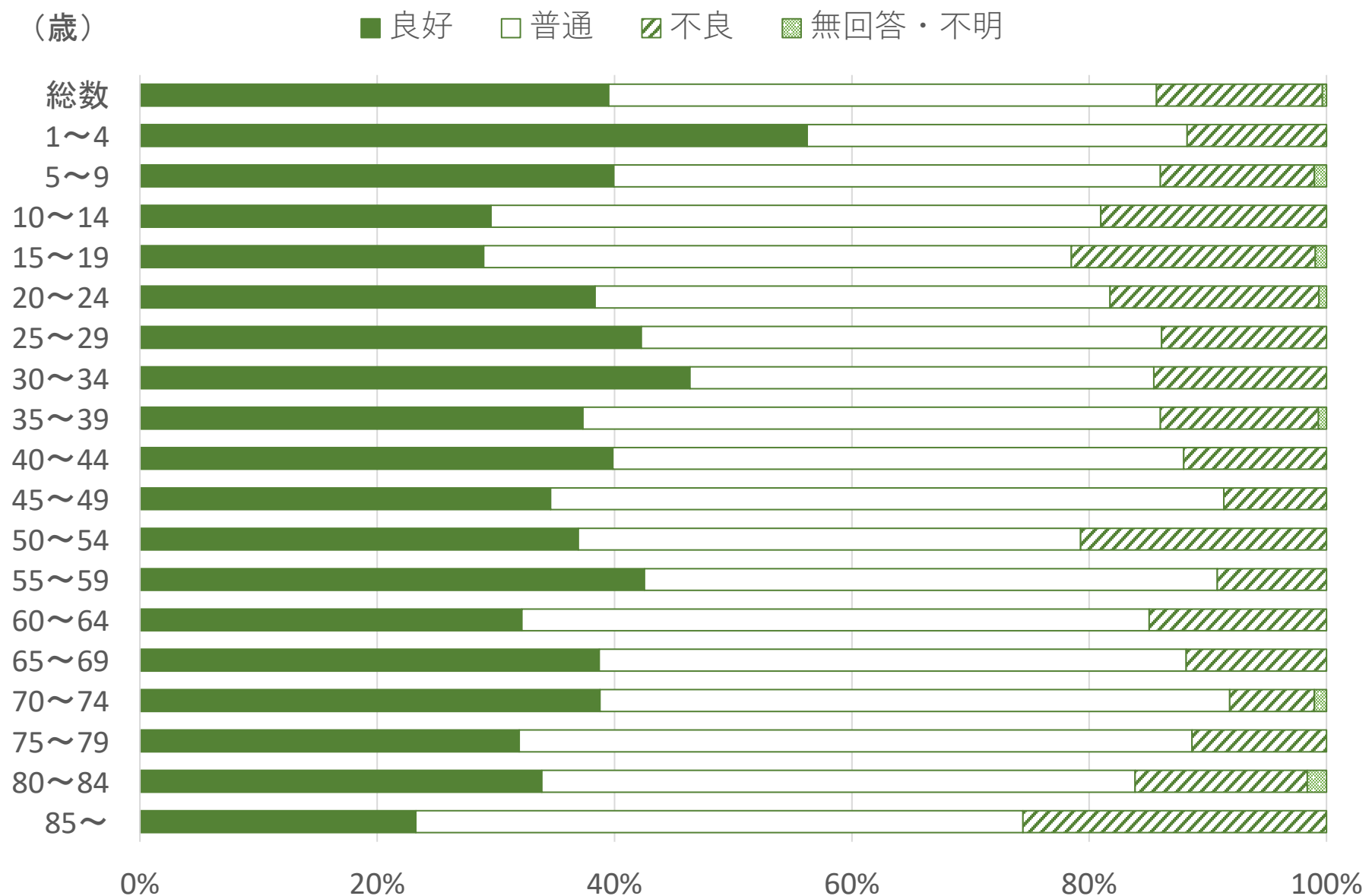
3. 口腔清掃状態

1歳以上で口腔清掃状態が「良好」な者の割合は、39.5%であった。15～19歳、50～54歳、85歳以上の年齢階級で「不良」な者の割合が20%を超えていた（表17、図19）。

表17 口腔清掃状態別の数および割合、年齢階級別

年齢階級(歳)	被調査者数(人)	人数(人)				割合(%)			
		良好	普通	不良	無回答・不明	良好	普通	不良	無回答・不明
総数	2344	926	1082	328	8	39.5	46.2	14.0	0.3
1～4	281	158	90	33	0	56.2	32.0	11.7	0.0
5～9	293	117	135	38	3	39.9	46.1	13.0	1.0
10～14	142	42	73	27	0	29.6	51.4	19.0	0.0
15～19	107	31	53	22	1	29.0	49.5	20.6	0.9
20～24	159	61	69	28	1	38.4	43.4	17.6	0.6
25～29	187	79	82	26	0	42.2	43.9	13.9	0.0
30～34	110	51	43	16	0	46.4	39.1	14.5	0.0
35～39	150	56	73	20	1	37.3	48.7	13.3	0.7
40～44	133	53	64	16	0	39.8	48.1	12.0	0.0
45～49	104	36	59	9	0	34.6	56.7	8.7	0.0
50～54	111	41	47	23	0	36.9	42.3	20.7	0.0
55～59	87	37	42	8	0	42.5	48.3	9.2	0.0
60～64	87	28	46	13	0	32.2	52.9	14.9	0.0
65～69	93	36	46	11	0	38.7	49.5	11.8	0.0
70～74	98	38	52	7	1	38.8	53.1	7.1	1.0
75～79	97	31	55	11	0	32.0	56.7	11.3	0.0
80～84	62	21	31	9	1	33.9	50.0	14.5	1.6
85～	43	10	22	11	0	23.3	51.2	25.6	0.0

図19 口腔清掃状態別の割合、年齢階級別



4. 口腔機能の状況

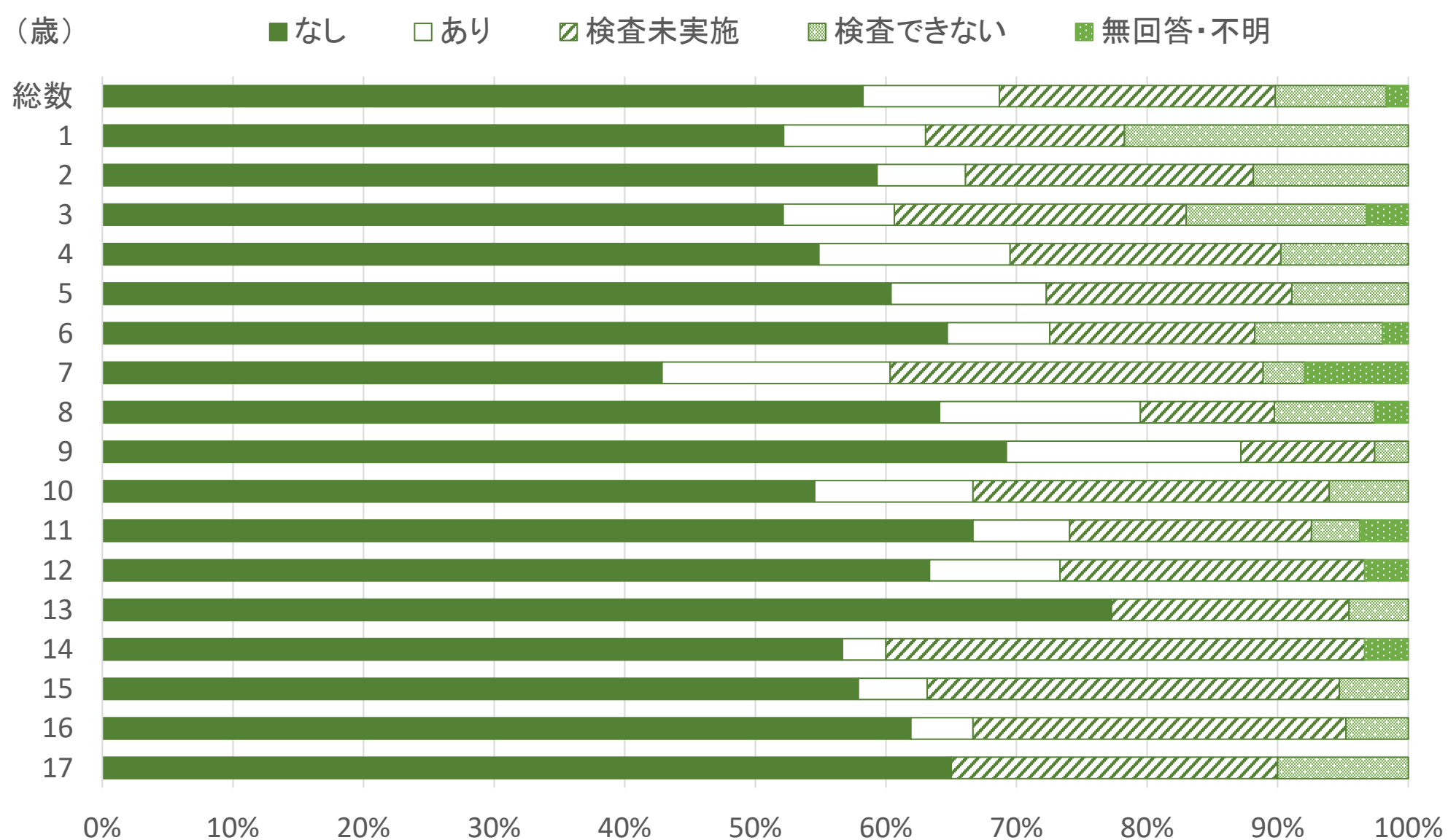
(1) 口腔機能発達不全症

口腔機能発達不全症に該当する者の割合は、7歳から10歳未満で15%より高かった。また、「検査未実施」、「検査できない」が全体で約30%であった（表18、図20）。

表18 口腔機能発達不全症の有無、年齢別（18歳未満）

年齢 (歳)	被調査 者数 (人)	人数 (人)					割合 (%)				
		なし	あり	検査 未実施	検査でき ない	無回答・ 不明	なし	あり	検査 未実施	検査でき ない	無回答・ 不明
総数	776	452	81	164	66	13	58.2	10.4	21.1	8.5	1.7
1	46	24	5	7	10	0	52.2	10.9	15.2	21.7	0.0
2	59	35	4	13	7	0	59.3	6.8	22.0	11.9	0.0
3	94	49	8	21	13	3	52.1	8.5	22.3	13.8	3.2
4	82	45	12	17	8	0	54.9	14.6	20.7	9.8	0.0
5	101	61	12	19	9	0	60.4	11.9	18.8	8.9	0.0
6	51	33	4	8	5	1	64.7	7.8	15.7	9.8	2.0
7	63	27	11	18	2	5	42.9	17.5	28.6	3.2	7.9
8	39	25	6	4	3	1	64.1	15.4	10.3	7.7	2.6
9	39	27	7	4	1	0	69.2	17.9	10.3	2.6	0.0
10	33	18	4	9	2	0	54.5	12.1	27.3	6.1	0.0
11	27	18	2	5	1	1	66.7	7.4	18.5	3.7	3.7
12	30	19	3	7	0	1	63.3	10.0	23.3	0.0	3.3
13	22	17	0	4	1	0	77.3	0.0	18.2	4.5	0.0
14	30	17	1	11	0	1	56.7	3.3	36.7	0.0	3.3
15	19	11	1	6	1	0	57.9	5.3	31.6	5.3	0.0
16	21	13	1	6	1	0	61.9	4.8	28.6	4.8	0.0
17	20	13	0	5	2	0	65.0	0.0	25.0	10.0	0.0

図20 口腔機能発達不全症の有無、年齢別（18歳未満）



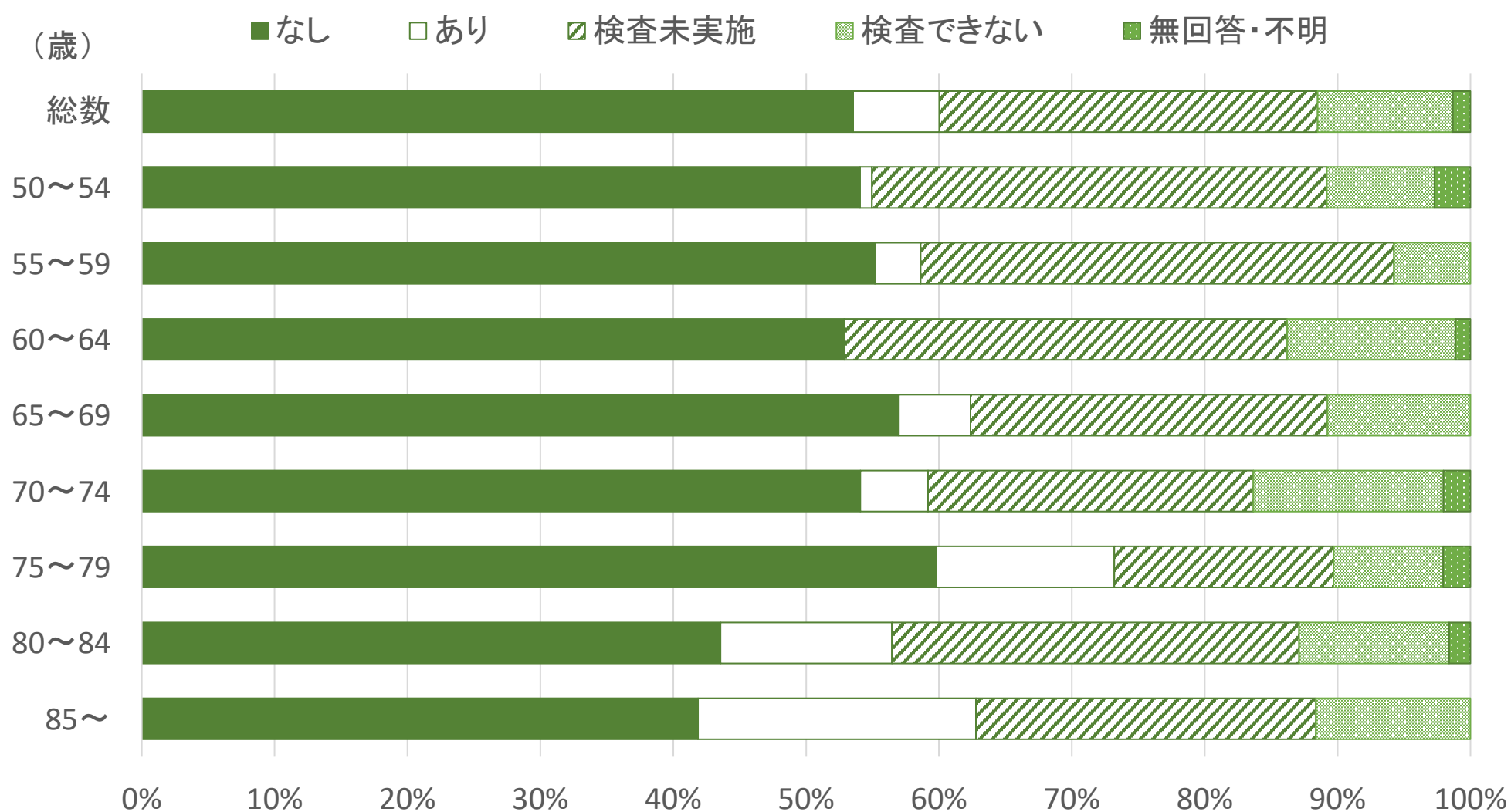
(2) 口腔機能低下症

口腔機能低下症に該当する者の割合は、85歳以上で最も高く20.9%であった。また、「検査未実施」、「検査できない」が全体で約40%であった（表19、図21）。

表19 口腔機能低下症の有無、年齢階級別（50歳以上）

年齢階級(歳)	被調査者数(人)	人数(人)					割合(%)				
		なし	あり	検査未実施	検査できない	無回答・不明	なし	あり	検査未実施	検査できない	無回答・不明
総数	678	363	44	193	69	9	53.5	6.5	28.5	10.2	1.3
50～54	111	60	1	38	9	3	54.1	0.9	34.2	8.1	2.7
55～59	87	48	3	31	5	0	55.2	3.4	35.6	5.7	0.0
60～64	87	46	0	29	11	1	52.9	0.0	33.3	12.6	1.1
65～69	93	53	5	25	10	0	57.0	5.4	26.9	10.8	0.0
70～74	98	53	5	24	14	2	54.1	5.1	24.5	14.3	2.0
75～79	97	58	13	16	8	2	59.8	13.4	16.5	8.2	2.1
80～84	62	27	8	19	7	1	43.5	12.9	30.6	11.3	1.6
85～	43	18	9	11	5	0	41.9	20.9	25.6	11.6	0.0

図21 口腔機能低下症の有無、年齢階級別（50歳以上）



5. フッ化物応用の経験の有無

フッ化物応用の経験がある者の割合は70.9%であった（表20、図22）。

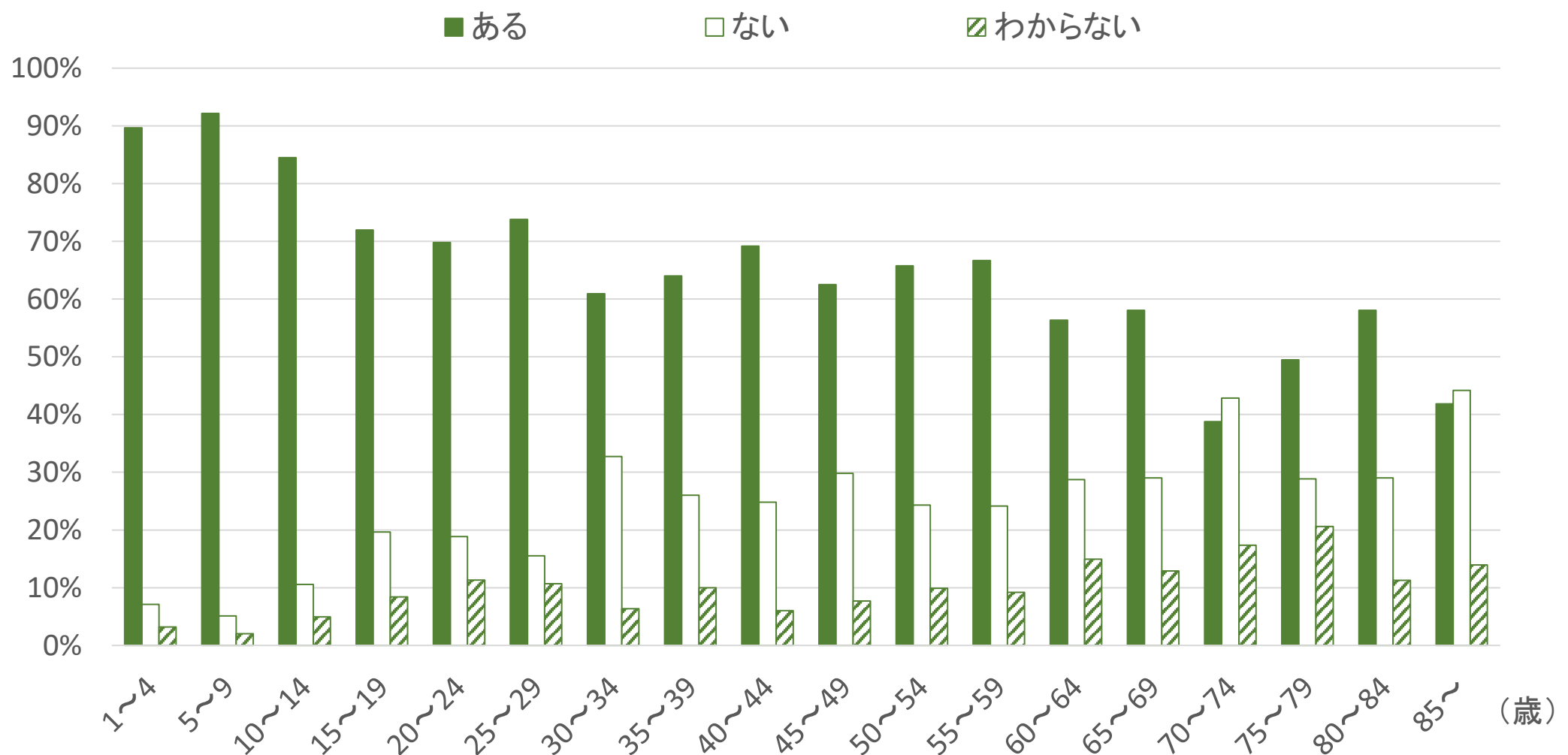
表20 フッ化物応用の経験の有無、年齢階級別

年齢階級 (歳)	人数 (人)								割合 (%)								
	被調査 者数 (人)	ある ¹⁾					ない	わから ない	無回 答・不 明	ある ¹⁾					ない	わから ない	無回 答・不 明
		総数 ²⁾	フッ化 物塗布	フッ化 物洗口	フッ化 物配合 歯磨剤 の使用	フッ化 物塗布				フッ化 物洗口	フッ化 物配合 歯磨剤 の使用	総数 ²⁾	フッ化 物塗布	フッ化 物洗口			
1～4	281	252	230	13	146	20	9	0	89.7	81.9	4.6	52.0	7.1	3.2	0.0		
5～9	293	270	243	29	161	15	6	2	92.2	82.9	9.9	54.9	5.1	2.0	0.7		
10～14	142	120	99	12	70	15	7	0	84.5	69.7	8.5	49.3	10.6	4.9	0.0		
15～19	107	77	49	6	49	21	9	0	72.0	45.8	5.6	45.8	19.6	8.4	0.0		
20～24	159	111	43	8	93	30	18	0	69.8	27.0	5.0	58.5	18.9	11.3	0.0		
25～29	187	138	59	9	119	29	20	0	73.8	31.6	4.8	63.6	15.5	10.7	0.0		
30～34	110	67	15	7	60	36	7	0	60.9	13.6	6.4	54.5	32.7	6.4	0.0		
35～39	150	96	20	3	89	39	15	0	64.0	13.3	2.0	59.3	26.0	10.0	0.0		
40～44	133	92	20	6	79	33	8	0	69.2	15.0	4.5	59.4	24.8	6.0	0.0		
45～49	104	65	22	6	57	31	8	0	62.5	21.2	5.8	54.8	29.8	7.7	0.0		
50～54	111	73	22	4	65	27	11	0	65.8	19.8	3.6	58.6	24.3	9.9	0.0		
55～59	87	58	15	10	51	21	8	0	66.7	17.2	11.5	58.6	24.1	9.2	0.0		
60～64	87	49	15	4	41	25	13	0	56.3	17.2	4.6	47.1	28.7	14.9	0.0		
65～69	93	54	14	7	50	27	12	0	58.1	15.1	7.5	53.8	29.0	12.9	0.0		
70～74	98	38	12	3	35	42	17	1	38.8	12.2	3.1	35.7	42.9	17.3	1.0		
75～79	97	48	16	1	43	28	20	1	49.5	16.5	1.0	44.3	28.9	20.6	1.0		
80～84	62	36	16	3	30	18	7	1	58.1	25.8	4.8	48.4	29.0	11.3	1.6		
85～	43	18	7	0	17	19	6	0	41.9	16.3	0.0	39.5	44.2	14.0	0.0		

1)複数回答可

2)いずれか1つでもある者

図22 フッ化物応用の経験の有無、年齢階級別



14歳以下の各年齢においては、いずれかのフッ化物応用の経験がある者は被調査者数の89.7%であり、4歳が96.3%で最も高かった。フッ化物塗布の経験のある者の割合は被調査者数の79.9%、フッ化物洗口の経験のある者の割合は被調査者数の7.5%、フッ化物配合歯磨剤の使用経験のある者の割合は被調査者数の52.7%であった（表21、図23）。

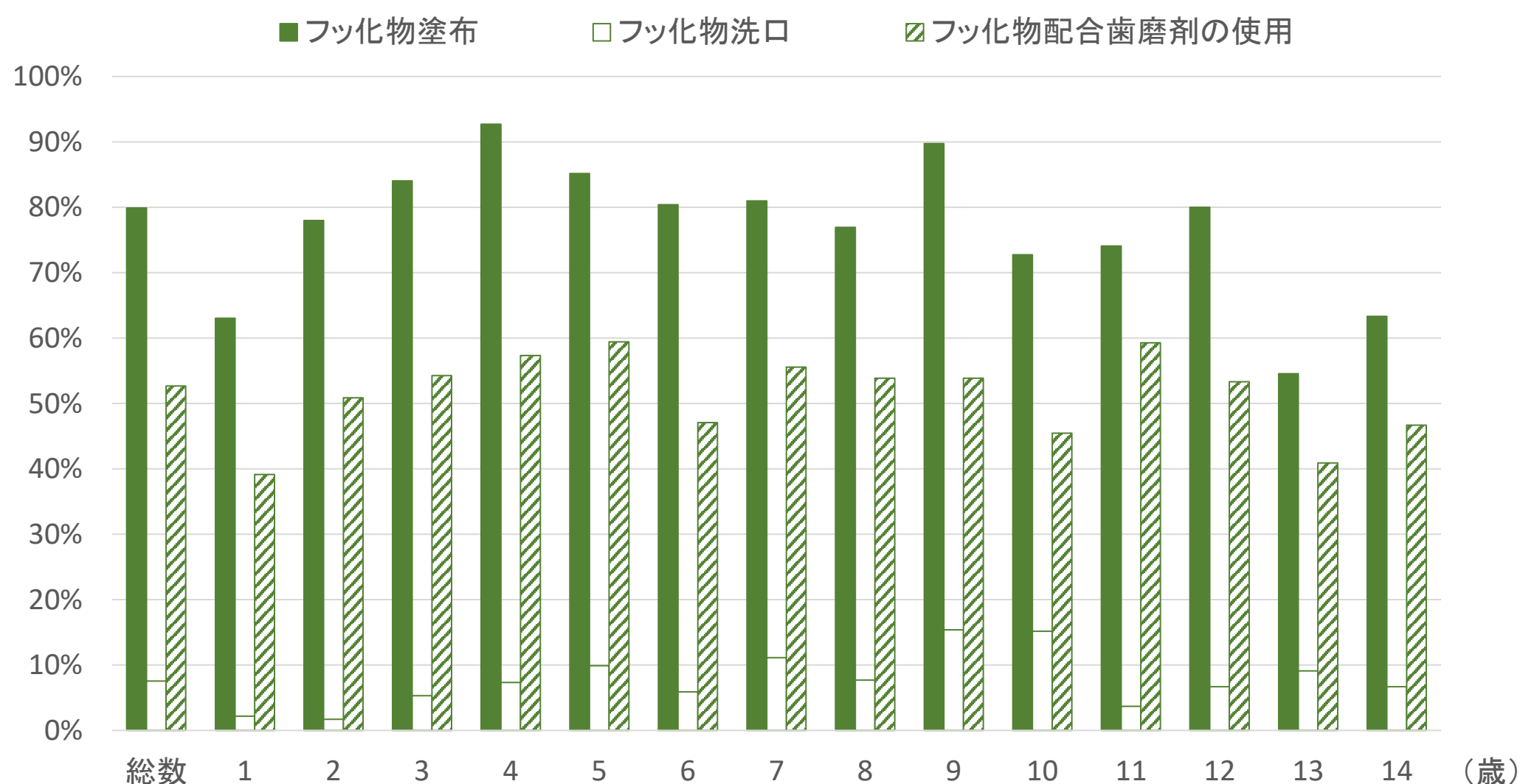
表21 フッ化物塗布・フッ化物洗口・フッ化物配合歯磨剤の使用の経験、年齢別（1～14歳）

年齢 (歳)	人数 (人)									割合 (%)						
	被調査 者数 (人)	ある ¹⁾					ない	わから ない	無回 答・不 明	総数 ²⁾	ある ¹⁾			ない	わから ない	無回 答・不 明
		総数 ²⁾	フッ化 物塗布	フッ化 物洗口	フッ化 物配合 歯磨剤 の使用	フッ化 物配合 歯磨剤 の使用					総数 ²⁾	フッ化 物塗布	フッ化 物洗口			
総数	716	642	572	54	377	50	22	2	89.7	79.9	7.5	52.7	7.0	3.1	0.3	
1	46	35	29	1	18	9	2	0	76.1	63.0	2.2	39.1	19.6	4.3	0.0	
2	59	54	46	1	30	2	3	0	91.5	78.0	1.7	50.8	3.4	5.1	0.0	
3	94	84	79	5	51	9	1	0	89.4	84.0	5.3	54.3	9.6	1.1	0.0	
4	82	79	76	6	47	0	3	0	96.3	92.7	7.3	57.3	0.0	3.7	0.0	
5	101	96	86	10	60	5	0	0	95.0	85.1	9.9	59.4	5.0	0.0	0.0	
6	51	46	41	3	24	4	1	0	90.2	80.4	5.9	47.1	7.8	2.0	0.0	
7	63	58	51	7	35	2	2	1	92.1	81.0	11.1	55.6	3.2	3.2	1.6	
8	39	33	30	3	21	3	2	1	84.6	76.9	7.7	53.8	7.7	5.1	2.6	
9	39	37	35	6	21	1	1	0	94.9	89.7	15.4	53.8	2.6	2.6	0.0	
10	33	29	24	5	15	3	1	0	87.9	72.7	15.2	45.5	9.1	3.0	0.0	
11	27	23	20	1	16	2	2	0	85.2	74.1	3.7	59.3	7.4	7.4	0.0	
12	30	28	24	2	16	2	0	0	93.3	80.0	6.7	53.3	6.7	0.0	0.0	
13	22	16	12	2	9	4	2	0	72.7	54.5	9.1	40.9	18.2	9.1	0.0	
14	30	24	19	2	14	4	2	0	80.0	63.3	6.7	46.7	13.3	6.7	0.0	

1)複数回答可

2)いずれか1つでもある者

図23 フッ化物塗布・フッ化物洗口・フッ化物配合歯磨剤の使用の経験、年齢別（1～14歳）



第2部 アンケート調査

1. 歯や口の状態

歯や口の状態について、「気になることがある」と回答した者の割合は、被調査者数の54.2%であり、1歳～4歳が44.3%で最も低く、35歳～39歳が70.3%で最も高かった（表22）。

歯の症状について、「歯が痛い」と回答した者の割合は15～19歳が13.5%で最も高く、「冷たいものや熱いものがしみる」と回答した者の割合は、30～34歳が19.8%で最も高かった（表22、図24-1）。

歯ぐきの症状について「歯ぐきが痛い」と回答した者の割合は、65～69歳が11.8%で最も高く、「歯ぐきが腫れている」と回答した者の割合は80～84歳が9.8%、「歯をみがくと歯ぐきから血が出る」と回答した者の割合は60～64歳が16.3%で最も高かった（表22、図24-2）。

口の機能について「噛めないものがある」と回答した者の割合は85歳以上が23.3%で最も高かった（表22、図24-3）。

その他の項目について「歯の色や歯並び」が気になると回答した者の割合は20.8%であり、全ての項目の中で最も高かった（表22、図24-4）。

表22 歯や口の状態、年齢階級別

年齢階級(歳)	被調査者数(人)	歯や口の状態について気になること(%)															
		ない	総数 ²⁾	歯の症状		歯ぐきの症状			口の機能			その他					
				歯が痛い	冷たいものや熱いものがしみる	歯ぐきが痛い	歯ぐきがはれている	歯をみがくと歯ぐきから血が出る	噛めないものがある	飲み込みにくい	口がかわく	口臭がある	ものがよくはさまる	歯の色や歯並び	歯ぎしりやくいしばり	その他	
総数	2179	45.8	54.2	6.8	8.8	3.3	4.9	7.9	2.4	0.6	2.9	5.8	10.4	20.8	8.7	6.6	
1～4	262	55.7	44.3	2.7	0.0	1.1	1.5	1.5	0.8	0.4	0.0	4.6	3.4	24.0	7.3	11.8	
5～9	277	52.7	47.3	5.8	0.7	1.1	3.2	2.2	0.0	0.0	0.7	5.8	5.1	26.7	8.3	6.1	
10～14	136	52.2	47.8	5.1	5.1	2.2	3.7	5.1	0.7	0.0	1.5	5.1	2.9	30.1	5.9	5.1	
15～19	104	51.9	48.1	13.5	14.4	1.0	3.8	4.8	0.0	0.0	1.0	4.8	1.9	23.1	4.8	5.8	
20～24	141	41.1	58.9	7.1	12.1	1.4	3.5	7.8	0.0	0.0	0.7	2.1	7.1	19.1	12.1	5.0	
25～29	151	42.4	57.6	9.9	14.6	2.6	4.0	9.9	0.0	0.0	3.3	4.6	7.3	24.5	11.9	3.3	
30～34	111	41.4	58.6	9.0	19.8	2.7	5.4	8.1	0.9	0.9	0.9	6.3	9.0	18.0	10.8	5.4	
35～39	138	29.7	70.3	11.6	17.4	2.9	8.0	11.6	2.2	0.7	2.2	9.4	16.7	28.3	18.1	6.5	
40～44	129	39.5	60.5	11.6	16.3	5.4	8.5	12.4	0.8	0.8	2.3	5.4	12.4	18.6	11.6	7.0	
45～49	93	43.0	57.0	7.5	12.9	4.3	6.5	6.5	0.0	0.0	1.1	2.2	10.8	20.4	11.8	5.4	
50～54	105	38.1	61.9	7.6	15.2	2.9	5.7	14.3	5.7	0.0	6.7	12.4	21.0	22.9	17.1	4.8	
55～59	73	39.7	60.3	4.1	5.5	4.1	2.7	6.8	1.4	0.0	1.4	8.2	23.3	21.9	9.6	1.4	
60～64	80	42.5	57.5	3.8	10.0	6.3	5.0	16.3	5.0	0.0	7.5	6.3	20.0	15.0	6.3	6.3	
65～69	85	43.5	56.5	7.1	4.7	11.8	9.4	14.1	5.9	1.2	4.7	5.9	16.5	12.9	3.5	7.1	
70～74	92	54.3	45.7	4.3	9.8	6.5	7.6	10.9	3.3	1.1	6.5	7.6	19.6	10.9	3.3	2.2	
75～79	98	48.0	52.0	5.1	5.1	4.1	5.1	12.2	9.2	2.0	11.2	8.2	13.3	9.2	0.0	12.2	
80～84	61	44.3	55.7	1.6	4.9	4.9	9.8	11.5	9.8	4.9	8.2	3.3	19.7	6.6	1.6	9.8	
85～	43	41.9	58.1	4.7	0.0	7.0	2.3	7.0	23.3	2.3	9.3	4.7	11.6	0.0	0.0	9.3	

1)複数回答可

2)いずれか1つでもある者

図24-1 歯の症状、年齢階級別

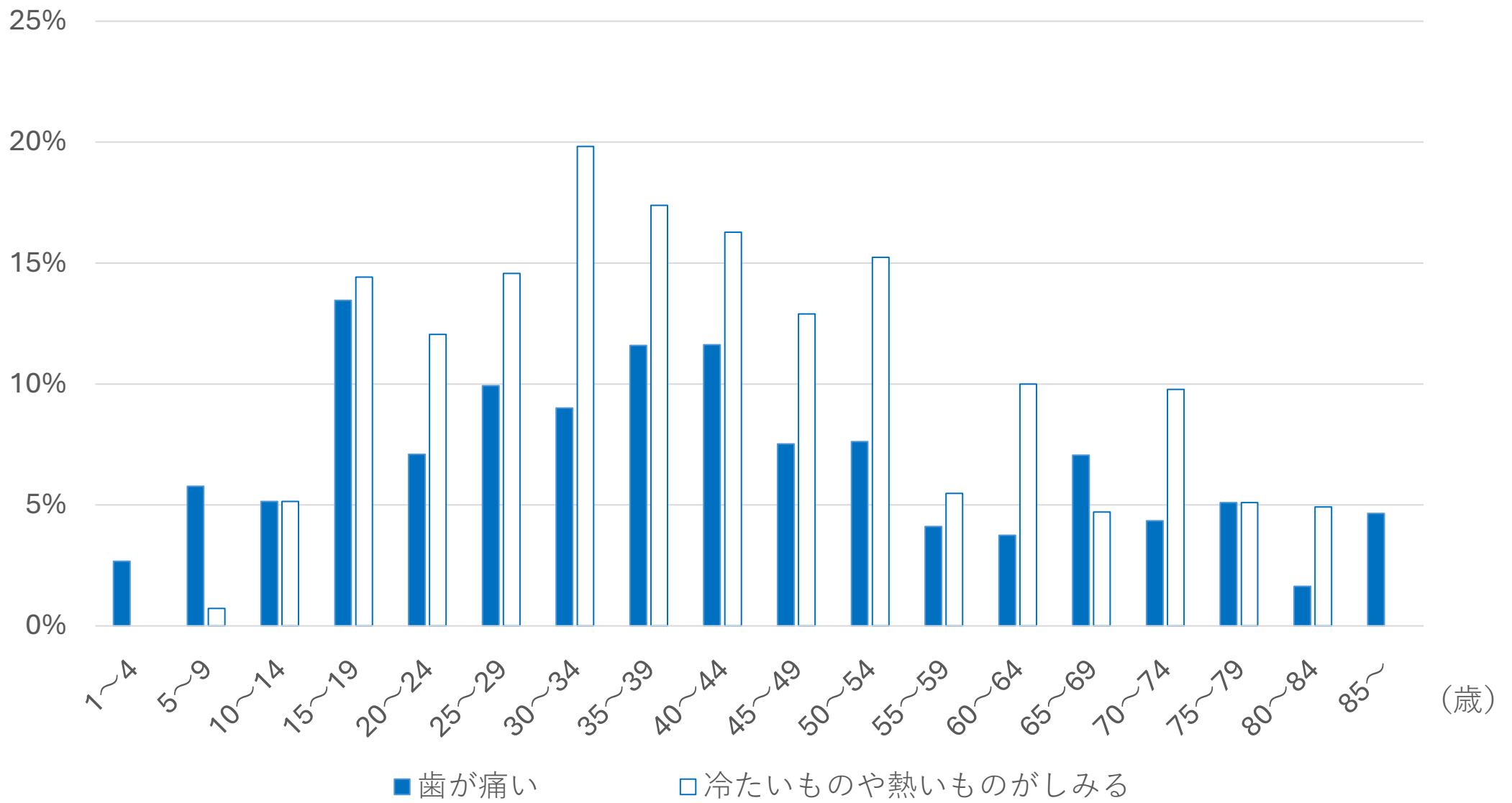


図24-2 歯ぐきの症状、年齢階級別

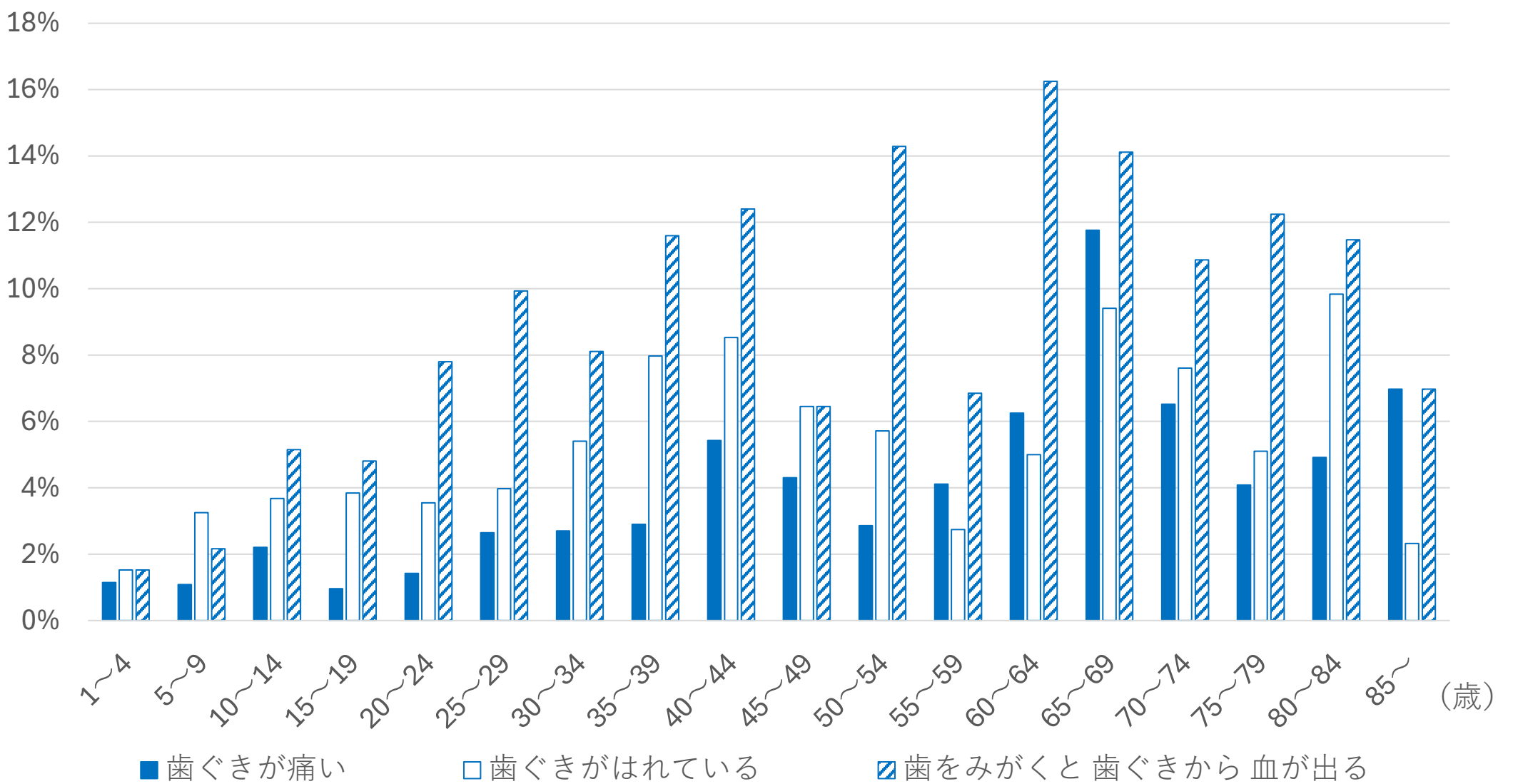


図24-3 口の機能、年齢階級別

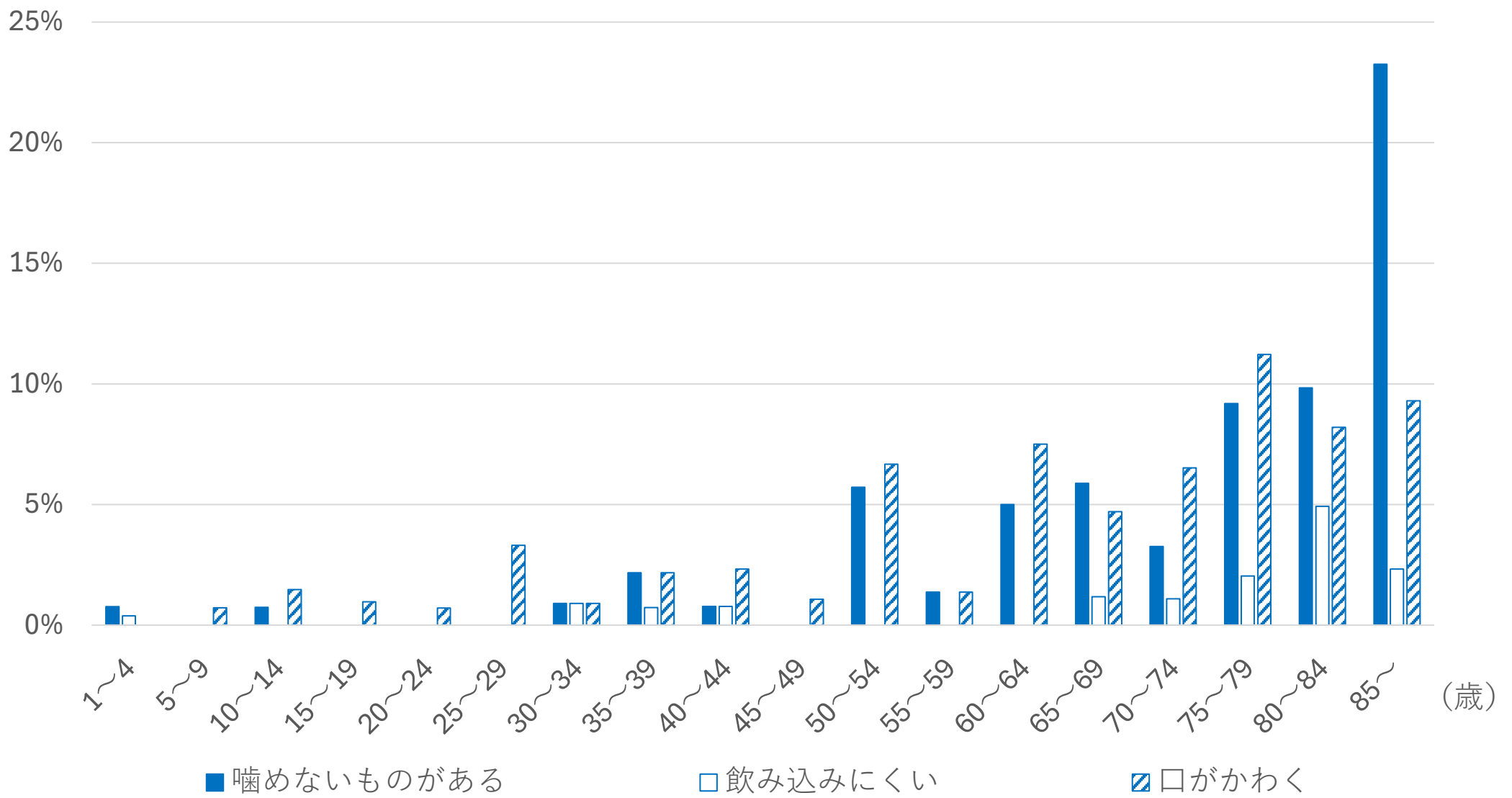
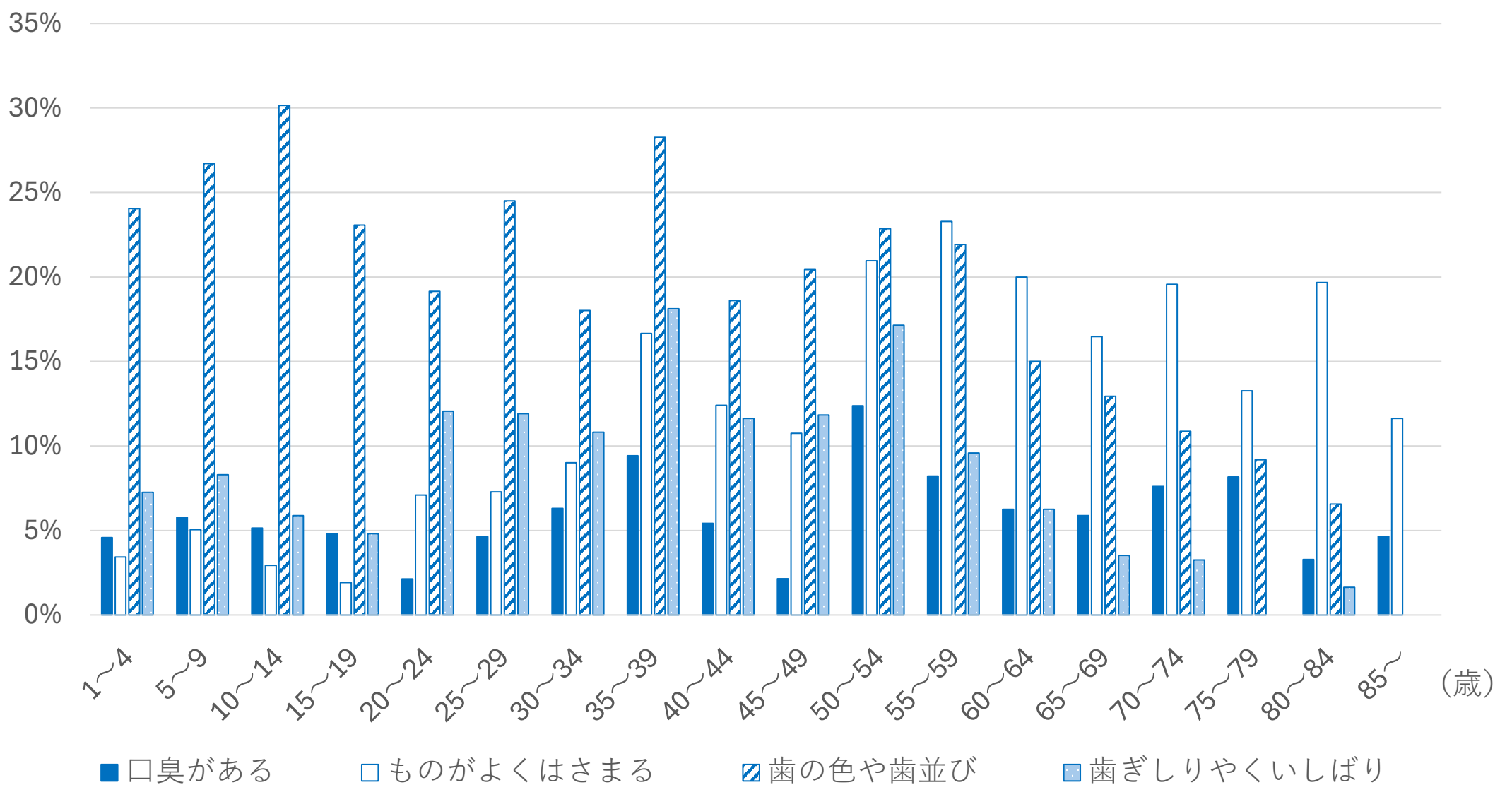


図24-4 その他、年齢階級別



2. 歯をみがく頻度

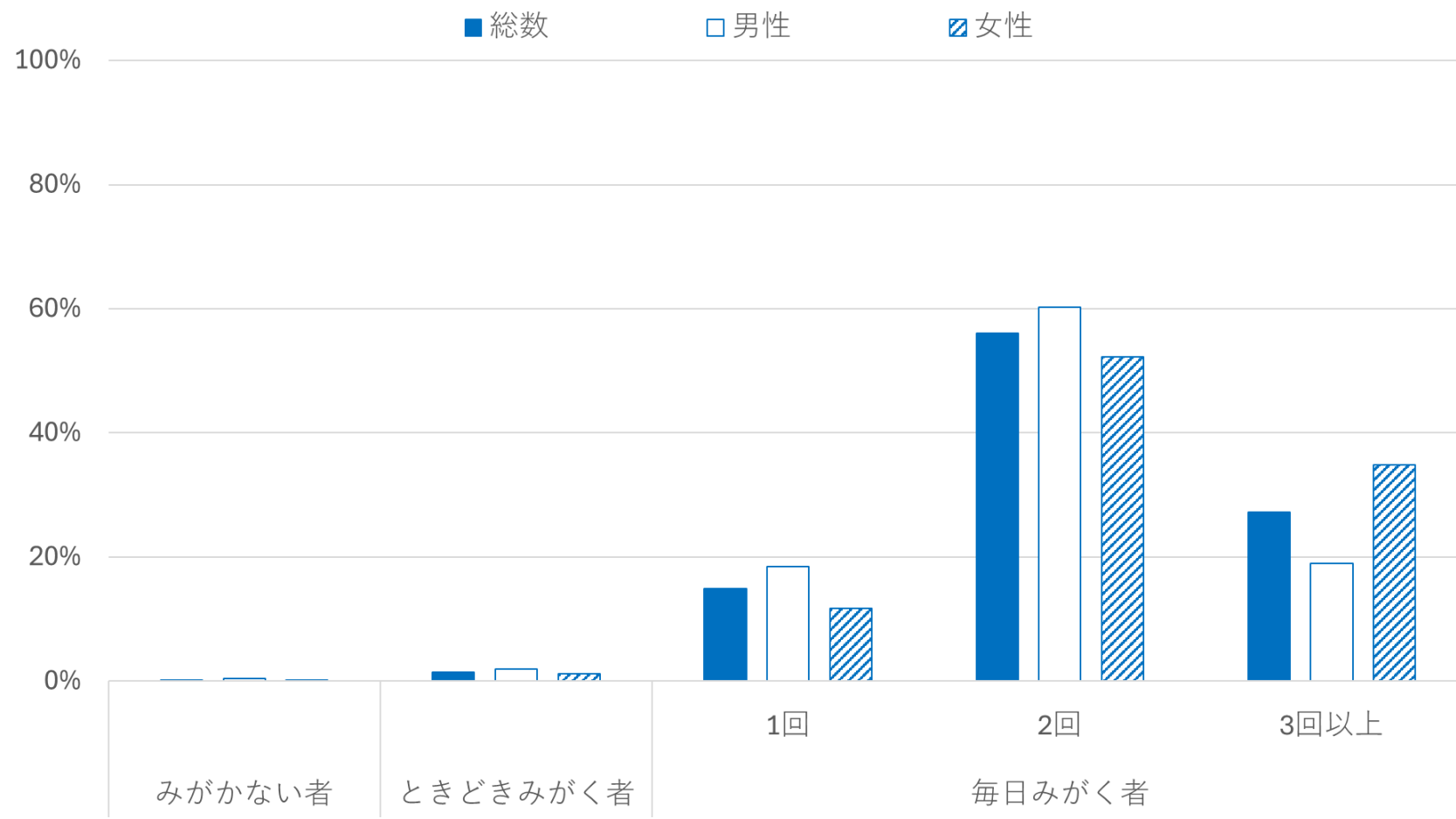
1歳以上の者では、「毎日歯をみがく者」の割合は98.3%であった。「毎日2回以上歯をみがく者」の割合は女性より男性が低く、79.1%であった（表23、図25）。

表23 歯ブラシの使用状況、性・年齢階級別

(%)

性別	年齢階級 (歳)	みがかない者	ときどきみがく者	毎日みがく者			
				総数	1回	2回	3回以上
	総数	0.2	1.5	98.3	15.0	56.0	27.3
男性	総数	0.4	1.9	97.7	18.5	60.2	18.9
	1～4	0.0	0.8	99.2	35.3	55.6	8.3
	5～9	0.0	1.4	98.6	16.2	71.1	11.3
	10～14	0.0	3.3	96.7	16.4	75.4	4.9
	15～19	1.8	0.0	98.2	17.9	66.1	14.3
	20～24	3.4	5.2	91.4	15.5	55.2	20.7
	25～29	0.0	0.0	100.0	13.7	63.0	23.3
	30～34	0.0	5.4	94.6	10.7	60.7	23.2
	35～39	0.0	3.4	96.6	17.2	56.9	22.4
	40～44	0.0	0.0	100.0	16.9	64.6	18.5
	45～49	0.0	0.0	100.0	14.9	57.4	27.7
	50～54	0.0	4.5	95.5	9.1	70.5	15.9
	55～59	0.0	0.0	100.0	23.7	55.3	21.1
	60～64	0.0	0.0	100.0	11.9	54.8	33.3
	65～69	0.0	2.5	97.5	17.5	50.0	30.0
	70～74	0.0	0.0	100.0	20.0	55.0	25.0
	75～79	0.0	4.7	95.3	16.3	44.2	34.9
	80～84	0.0	4.8	95.2	19.0	47.6	28.6
85～	5.3	5.3	89.5	26.3	31.6	31.6	
女性	総数	0.1	1.1	98.8	11.7	52.2	34.8
	1～4	0.0	0.8	99.2	31.8	52.7	14.7
	5～9	0.0	0.7	99.3	22.2	60.0	17.0
	10～14	0.0	1.3	98.7	10.7	78.7	9.3
	15～19	0.0	0.0	100.0	10.4	68.8	20.8
	20～24	0.0	3.6	96.4	4.8	43.4	48.2
	25～29	0.0	1.3	98.7	6.4	34.6	57.7
	30～34	0.0	0.0	100.0	9.1	40.0	50.9
	35～39	0.0	0.0	100.0	5.0	53.8	41.3
	40～44	0.0	0.0	100.0	7.8	53.1	39.1
	45～49	0.0	0.0	100.0	0.0	43.5	56.5
	50～54	0.0	0.0	100.0	3.3	49.2	47.5
	55～59	0.0	0.0	100.0	2.9	42.9	54.3
	60～64	0.0	0.0	100.0	7.9	50.0	42.1
	65～69	0.0	0.0	100.0	4.4	60.0	35.6
	70～74	0.0	3.8	96.2	5.8	51.9	38.5
	75～79	0.0	1.8	98.2	12.7	52.7	32.7
	80～84	0.0	7.5	92.5	10.0	35.0	47.5
85～	4.2	0.0	95.8	20.8	54.2	20.8	

図25 歯ブラシの使用状況、性・年齢階級別



3. 歯や口の清掃状況

歯ブラシを用いた清掃に加えて、歯間清掃用具等を用いて歯や口の清掃を行っている者の割合は63.8%であった。「デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃している」者の割合は女性より男性が低く、49.5%であった（表24、図26-1、図26-2）。

表24 歯や口の清掃状況、性・年齢階級別

性別	年齢階級 (歳)	被調査者 数(人)	歯ブラシを用いた歯みがきに加えて歯や口の清掃を行っているか(%)			
			行っていない	総数 ²⁾	行っている ¹⁾	
					デンタルフロスや 歯間ブラシを使っ て、歯と歯の間を 清掃している	舌を清掃している
総数		2179	36.2	63.8	57.9	19.0
男性	総数	1036	43.2	56.8	49.5	16.3
	1~4	133	52.6	47.4	42.9	8.3
	5~9	142	50.7	49.3	46.5	8.5
	10~14	61	57.4	42.6	37.7	11.5
	15~19	56	53.6	46.4	32.1	16.1
	20~24	58	51.7	48.3	31.0	24.1
	25~29	73	35.6	64.4	54.8	26.0
	30~34	56	33.9	66.1	55.4	21.4
	35~39	58	32.8	67.2	48.3	27.6
	40~44	65	35.4	64.6	53.8	20.0
	45~49	47	34.0	66.0	61.7	14.9
	50~54	44	31.8	68.2	65.9	18.2
	55~59	38	34.2	65.8	65.8	15.8
	60~64	42	31.0	69.0	64.3	26.2
	65~69	40	35.0	65.0	60.0	22.5
	70~74	40	37.5	62.5	60.0	15.0
	75~79	43	37.2	62.8	55.8	14.0
80~84	21	57.1	42.9	38.1	9.5	
85~	19	57.9	42.1	36.8	5.3	
女性	総数	1143	29.7	70.3	65.4	21.5
	1~4	129	48.1	51.9	50.4	7.0
	5~9	135	46.7	53.3	52.6	3.7
	10~14	75	50.7	49.3	40.0	18.7
	15~19	48	47.9	52.1	43.8	14.6
	20~24	83	25.3	74.7	66.3	37.3
	25~29	78	15.4	84.6	75.6	41.0
	30~34	55	14.5	85.5	74.5	30.9
	35~39	80	10.0	90.0	82.5	30.0
	40~44	64	23.4	76.6	71.9	29.7
	45~49	46	19.6	80.4	76.1	26.1
	50~54	61	11.5	88.5	86.9	16.4
	55~59	35	11.4	88.6	82.9	14.3
	60~64	38	15.8	84.2	84.2	13.2
	65~69	45	20.0	80.0	77.8	24.4
	70~74	52	25.0	75.0	71.2	26.9
	75~79	55	25.5	74.5	70.9	21.8
80~84	40	35.0	65.0	62.5	35.0	
85~	24	58.3	41.7	37.5	20.8	

1)複数回答可

2)いずれか1つでもある者

図26-1 歯や口の清掃状況、男性、年齢階級別

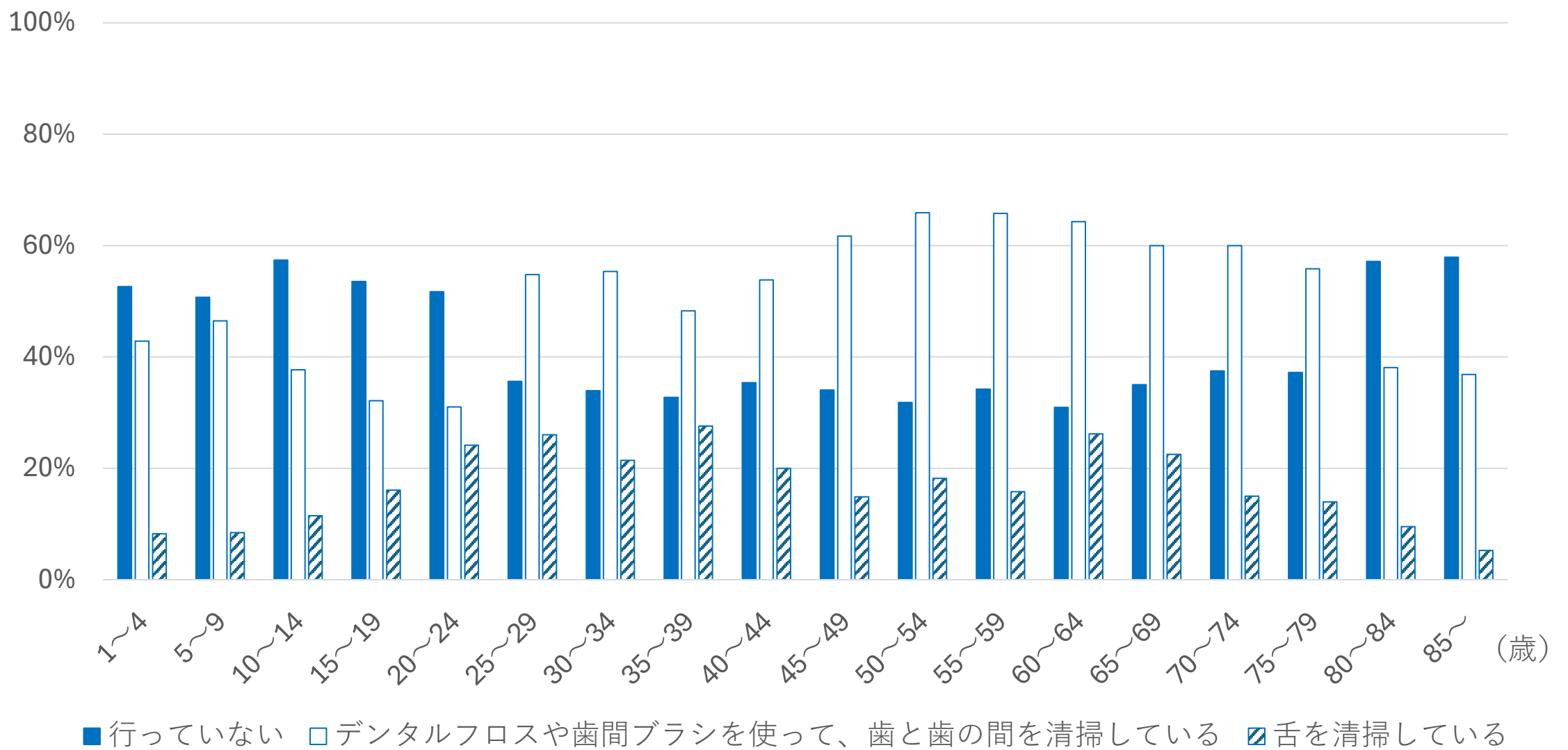
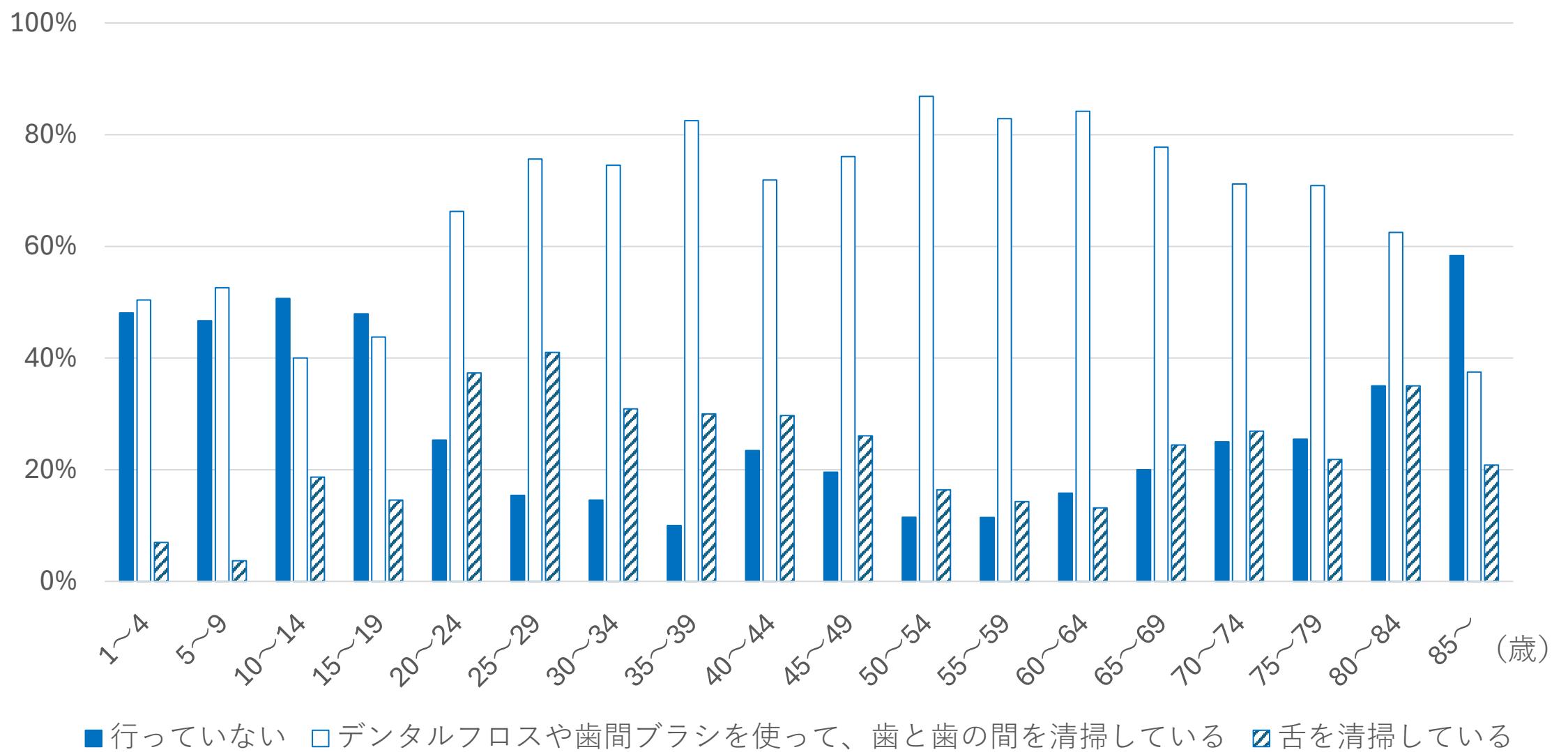


図26-2 歯や口の清掃状況、女性、年齢階級別



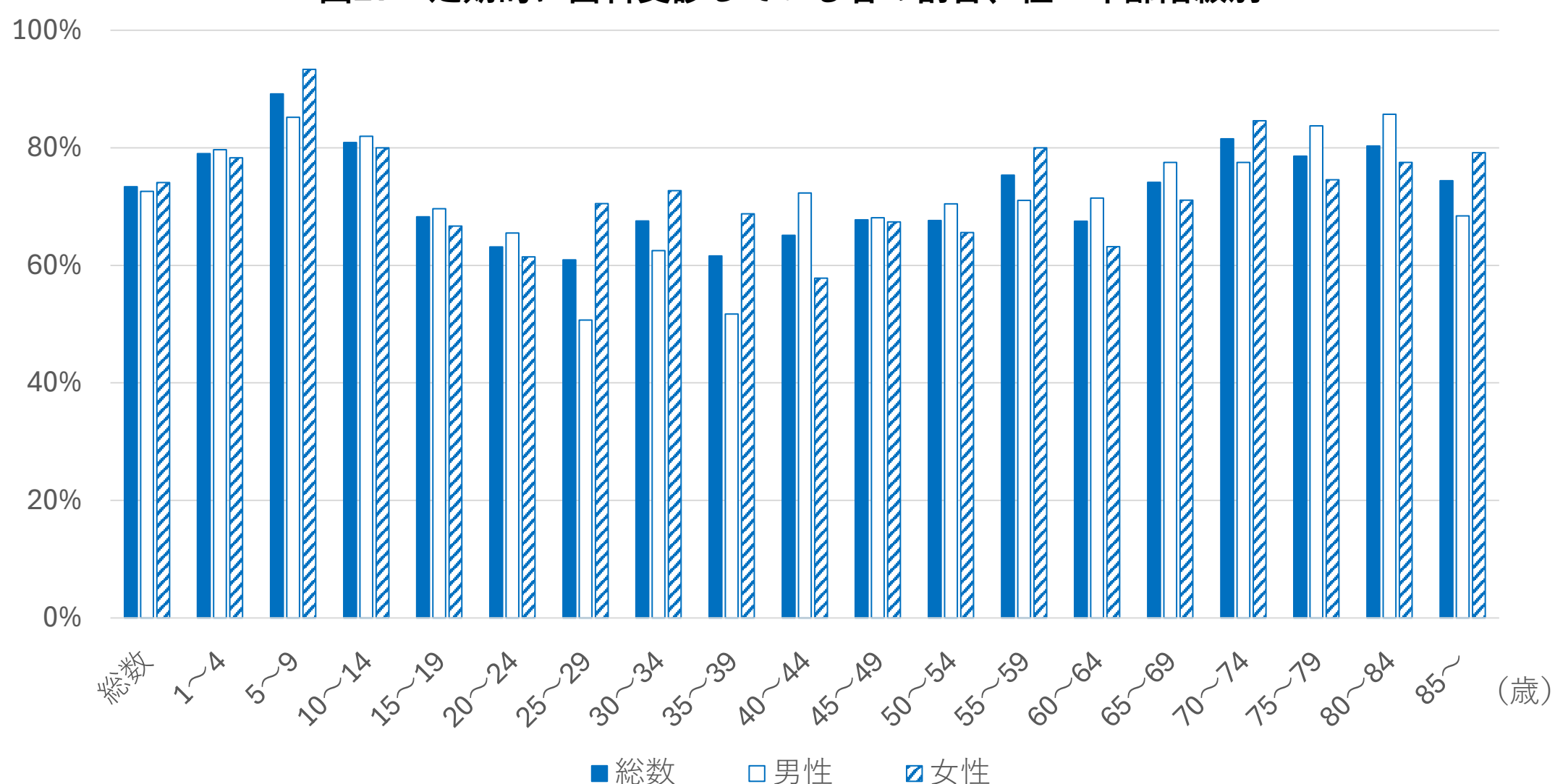
4. 定期的な歯科受診の状況

定期的に歯科受診をしている者の割合は、全体の73.4%で、男性72.6%、女性74.1%であった。歯科受診をしている者の割合が最も高かったのは5～9歳の女性で93.3%、最も低かったのは25～29歳の男性で50.7%であった（表25、図27）。

表25 定期的に歯科受診している者の数および割合、性・年齢階級別

年齢階級 (歳)	総数			男性			女性		
	被調査者数 (人)	受診している者 人数 (人)	割合 (%)	被調査者数 (人)	受診している者 人数 (人)	割合 (%)	被調査者数 (人)	受診している者 人数 (人)	割合 (%)
総数	2179	1599	73.4	1036	752	72.6	1143	847	74.1
1～4	262	207	79.0	133	106	79.7	129	101	78.3
5～9	277	247	89.2	142	121	85.2	135	126	93.3
10～14	136	110	80.9	61	50	82.0	75	60	80.0
15～19	104	71	68.3	56	39	69.6	48	32	66.7
20～24	141	89	63.1	58	38	65.5	83	51	61.4
25～29	151	92	60.9	73	37	50.7	78	55	70.5
30～34	111	75	67.6	56	35	62.5	55	40	72.7
35～39	138	85	61.6	58	30	51.7	80	55	68.8
40～44	129	84	65.1	65	47	72.3	64	37	57.8
45～49	93	63	67.7	47	32	68.1	46	31	67.4
50～54	105	71	67.6	44	31	70.5	61	40	65.6
55～59	73	55	75.3	38	27	71.1	35	28	80.0
60～64	80	54	67.5	42	30	71.4	38	24	63.2
65～69	85	63	74.1	40	31	77.5	45	32	71.1
70～74	92	75	81.5	40	31	77.5	52	44	84.6
75～79	98	77	78.6	43	36	83.7	55	41	74.5
80～84	61	49	80.3	21	18	85.7	40	31	77.5
85～	43	32	74.4	19	13	68.4	24	19	79.2

図27 定期的に歯科受診している者の割合、性・年齢階級別

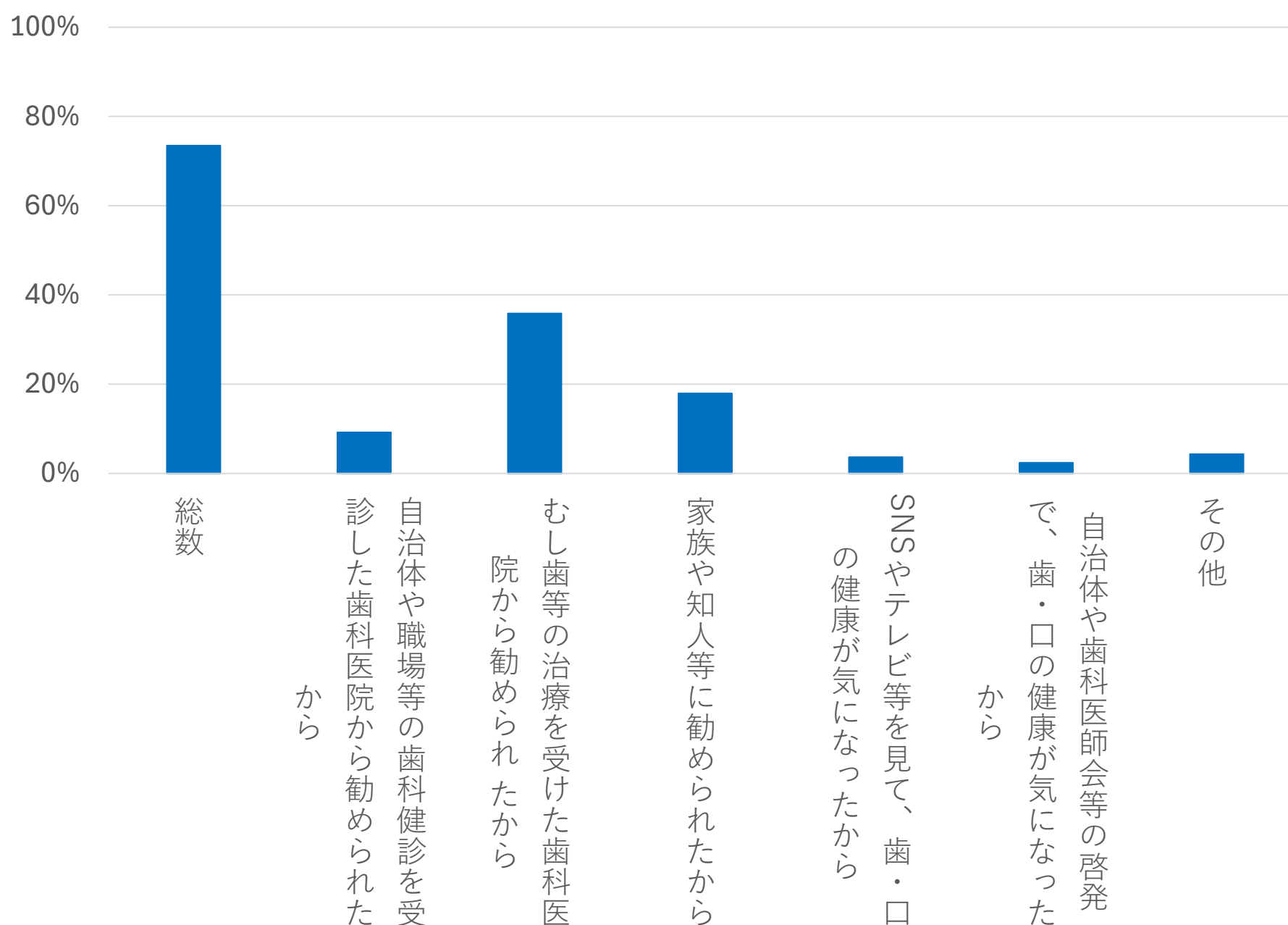


定期的に歯科受診している者のきっかけを見ると、最も多かったのは「むし歯等の治療を受けた歯科医院から勧められたから」で35.9%であった（表26、図28）。

表26 定期的に歯科受診している者の数および割合、きっかけ別

	被調査者数 (人)	歯科受診の きっかけ (人)	歯科受診の きっかけ (%)
総数	2177	1599	73.4
自治体や職場等の歯科健診を受診した歯科医院から勧められたから	2177	201	9.2
むし歯等の治療を受けた歯科医院から勧められたから	2177	781	35.9
家族や知人等に勧められたから	2177	391	18.0
SNSやテレビ等を見て、歯・口の健康が気になったから	2177	80	3.7
自治体や歯科医師会等の啓発で、歯・口の健康が気になったから	2177	52	2.4
その他	2177	94	4.3

図28 定期的に歯科受診している者の割合、きっかけ別



参考資料

令和7年県民歯科口腔保健実態調査実施要領

1 調査の目的

本県の歯科口腔保健の状況を把握し、県が実施する歯科口腔保健施策の効果、福岡県歯科口腔保健推進計画の進捗状況や評価を行うための基礎資料とし、今後の本県の歯科保健医療の推進を図ることを目的とする。

2 調査の実施

調査の実施主体は福岡県とし、調査の一部を公益社団法人福岡県歯科医師会（以下、「福岡県歯科医師会」という。）に委託をして実施する。

3 調査者

福岡県歯科医師会員のうち、本調査への協力を承諾した会員

4 調査の対象

会員歯科診療所を受診した満1歳以上の患者のうち、調査への協力を得た者

5 調査の期間

令和7年10月1日から11月30日まで

6 調査の方法

調査結果の集計、評価を福岡県保健医療介護部健康増進課が行うとともに、以下の内容を福岡県歯科医師会に委託して実施する。

(1) 調査対象者の割り当て

県が地域ごとに按分した目標人数を達成できるように歯科診療所にライフステージ別・性別を踏まえ、対象者数を割り当てる。

(2) 調査対象者の選定

各歯科診療所では、受診患者の中から対象の年齢及び性がマッチする患者を無作為に選出し、本調査への協力同意が得られた者約2,300人を被調査者として選定する。

(3) 調査の実施

①調査形式：各歯科診療所にて個別形式で実施

②調査内容：アンケート調査及び口腔内診査（診療情報の提供）

③調査項目：性別、年齢、歯・補綴の状況、歯肉の状況、口腔清掃状況、口腔機能の状況 等

(4) 調査票等の提出

調査員は調査終了後、記入漏れ等を審査し、福岡県歯科医師会に提出する。福岡県歯科医師会は、調査票をとりまとめ、令和8年1月31日までに福岡県保健医療介護部健康増進課にデータ送付する。

令和 7 年県民歯科口腔保健実態調査票

回答日 2025 年 月 日
福岡県 市・町・村

(1) 性別 1. 男 2. 女

(2) 年齢 (回答日現在) 満 歳

※あてはまる番号を選択してください。

(3) 歯や口の状態について気になることはありますか？

1. ない 2. ある

(3-1) ((3) で「2. ある」と回答した方に伺います。)

気になることとして当てはまるものはどれですか？ (複数回答可)

1. 歯が痛い 2. 冷たいものや熱いものがしみる
3. 歯ぐきが痛い 4. 歯ぐきはれている 5. 歯をみがくと歯ぐきから血が出る
6. 噛めないものがある 7. 飲み込みにくい 8. 口がかわく
9. 口臭がある 10. ものがよくはさまる 11. 歯の色や歯並び
12. 歯ぎしりやくいしばり 13. その他 (具体的に)

(4) 歯をみがく頻度はどれくらいですか？ (歯が全くない人は回答不要です。)

毎日みがく (1. 1回 2. 2回 3. 3回以上) 4. ときどきみがく 5. みがかない

(5) (歯ブラシを用いた歯みがきに加えて、)

以下の歯や口の清掃を行っていますか？ (複数回答可)

1. デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間を清掃している
2. 舌を清掃している
3. 行っていない

(6) あなたは定期的に歯科受診をしていますか？

1. している 2. していない

(6-1) ((6) で「1. している」と回答した方に伺います。)

定期的に受診するようになったきっかけとして当てはまるものはどれですか？

1. 自治体や職場等の歯科健診を受診した歯科医院から勧められたから
2. むし歯等の治療を受けた歯科医院から勧められたから
3. 家族や知人等に勧められたから
4. SNS やテレビ等を見て、歯・口の健康が気になったから
5. 自治体や歯科医師会等の啓発で、歯・口の健康が気になったから
6. その他 (具体的に)

令和7年県民歯科口腔保健実態調査票

別紙2

調査日 2025年 月 日
 市町村 _____
 年齢 _____ 歳
 性別 _____

(1) 歯・補綴の状況

		上顎															
		8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
補綴																	
永久歯																	
					E	D	C	B	A	A	B	C	D	E			
	乳歯																
	乳歯																
					E	D	C	B	A	A	B	C	D	E			
永久歯																	
補綴																	
		8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

【歯の状況】
 健全歯：／
 未処置歯：C(歯冠部のう蝕)
 :RC(根面部のう蝕)
 :C+RC(歯冠部と根面部のう蝕)
 処置歯：○(充填、クラウン、ブリッジ支台)
 喪失歯：△(要補綴歯)
 :○△(欠損補綴歯)

【補綴の状況】
 可撤性義歯：De
 ブリッジ(ポンティック部)：Br
 インプラント：Im

(2) 歯肉の状況(永久歯列)

		7・6	1				6・7
BOP							
歯周ポケット							
歯周ポケット							
BOP							
		7・6	1				6・7

【歯周ポケット】
 0: 4mm未満
 1: 4mm以上6mm未満
 2: 6mm以上
 9: 除外歯
 X: 該当歯なし

【BOP】
 0: 出血なし
 1: 出血あり
 9: 除外歯
 X: 該当歯なし

(3) 口腔清掃状態

【口腔清掃状態】
 良好 普通 不良

(4) 口腔機能発達不全症 ※18歳未満で回答

【口腔機能発達不全症】 ※18歳未満で回答
 無 有 検査未実施 検査できない

(5) 口腔機能低下症 ※50歳以上で回答

【口腔機能低下症】 ※50歳以上で回答
 無 有 検査未実施 検査できない

(6) 過去1年間におけるフッ化物応用の経験の有無

【フッ化物応用】 ※複数回答可
 塗布 洗口 歯磨剤 ない わからない